

7 アイヌの人々の人権

◎ アイヌの人々の人権が尊重されていないと感じるのは「独自の文化や伝統の保存、伝承が図られていないこと」が3割半ばと最も高くなっている

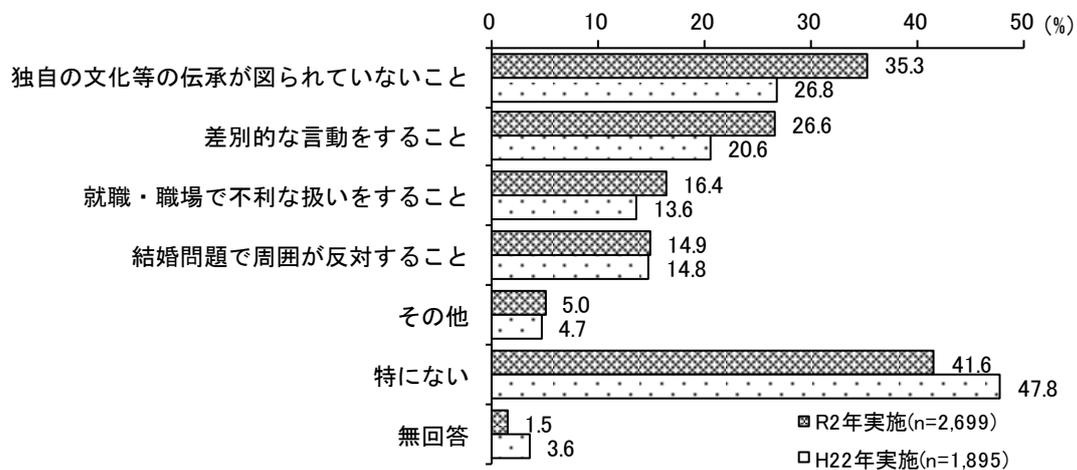
問22. あなたは、アイヌの人々に関して、人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

- 1 結婚問題で周囲が反対すること
- 2 就職・職場で不利な扱いをすること
- 3 差別的な言動をすること
- 4 独自の文化や伝統の保存、伝承が図られていないこと
- 5 その他
- 6 特にない

【県全域／前回との比較】

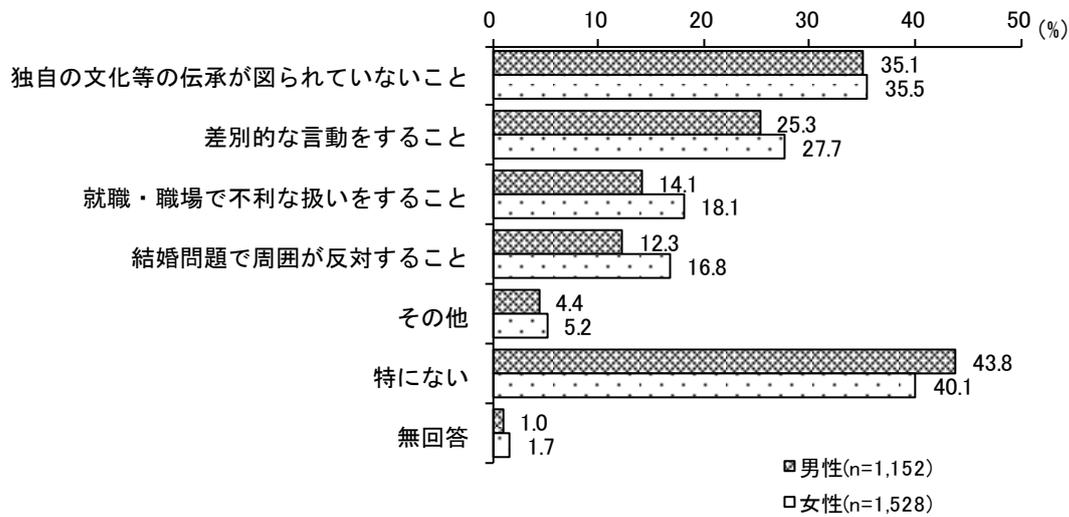
アイヌの人々の人権が尊重されていないと感じる状況は、「独自の文化や伝統の保存、伝承が図られていないこと」が35.3%で最も高くなっている。一方、「特にない」が41.6%となっている。

前回調査と比較すると、「独自の文化等の伝承が図られていないこと」(26.8%→35.3%)が8.5ポイント増加している。



【性別】

女性は男性よりも「結婚問題で周囲が反対すること」（女性 16.8% 男性 12.3%）が 4.5 ポイント高くなっている。男女ともに「特にない」が 40%以上となっている。



【年齢別】

20歳代以上は「独自の文化等の伝承が図られていないこと」が最も高くなっている。

	全体 (人)	独自の文化等の伝承が	差別的な言動をすること	結婚問題で周囲が反対	就職・職場で不利な扱いをすること	その他	特にない	無回答
18・19歳	23	30.4	39.1	13.0	13.0	4.3	26.1	0.0
20歳代	272	35.3	33.1	19.1	15.4	1.5	41.9	0.7
30歳代	449	34.3	26.5	17.4	14.9	6.5	41.2	0.7
40歳代	612	33.0	27.6	15.5	15.4	4.1	44.4	1.1
50歳代	571	35.6	25.4	16.5	16.8	6.3	41.5	0.7
60歳代	455	40.7	25.1	16.9	13.2	5.3	38.5	2.2
70歳代	274	34.3	23.4	14.6	12.4	4.4	42.7	2.9
80歳以上	26	30.8	19.2	3.8	11.5	3.8	50.0	11.5

8 外国人の人権

◎ 外国人の人権が尊重されていないと感じるのは「就職活動や職場において不利な扱いを受ける」が約4割と最も高くなっている

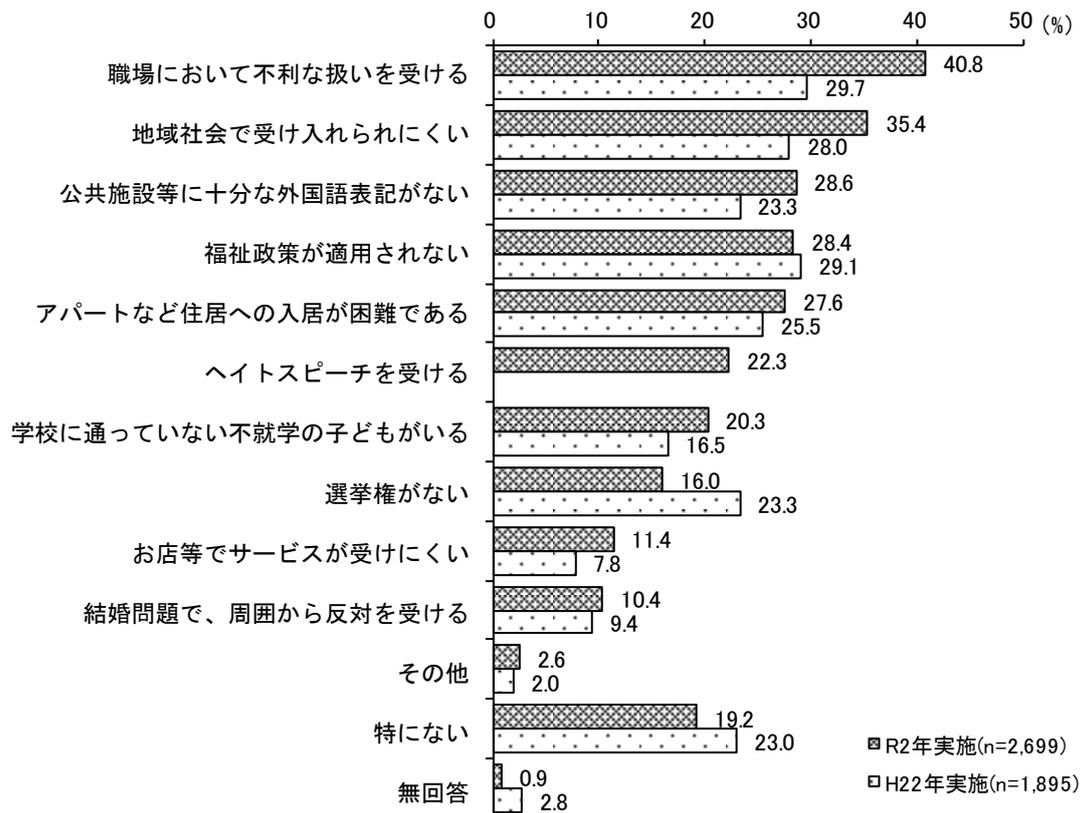
問23. あなたは、日本に住む外国人の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

- 1 就職活動や職場において不利な扱いを受ける
- 2 年金や医療保険制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されない
- 3 選挙権がない
- 4 アパートなど住居への入居が困難である
- 5 義務教育年齢に達しているが、学校に通っていない不就学の子どもがいる
- 6 習慣等が異なるため、地域社会で受け入れられにくい
- 7 結婚問題で、周囲から反対を受ける
- 8 病院や公共施設に十分な外国語表記がないので、サービスが受けにくい
- 9 店によっては入店を拒否されたり、十分なサービスを受けられなかったりする
- 10 ヘイトスピーチを受ける
- 11 その他
- 12 特にない

【県全域／前回との比較】

外国人の人権が尊重されていないと感じる状況は、「就職活動や職場において不利な扱いを受ける」が40.8%で最も高く、次いで、「習慣等が異なるため、地域社会で受け入れられにくい」が35.4%、「病院や公共施設に十分な外国語表記がないので、サービスが受けにくい」が28.6%と続いている。

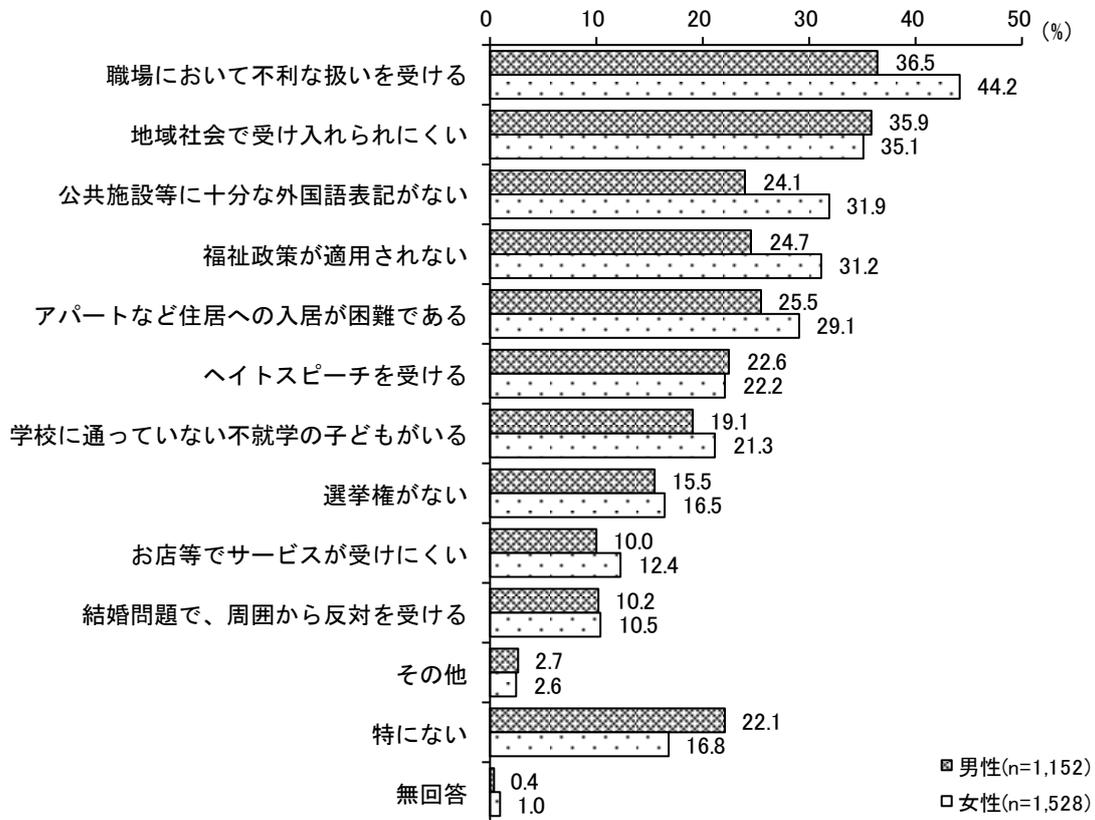
前回調査と比較すると、「職場において不利な扱いを受ける」(29.7%→40.8%)が11.1ポイント、「地域社会で受け入れられにくい」(28.0%→35.4%)が7.4ポイント増加している。



II. 調査結果の分析

【性別】

女性は男性よりも「公共施設等に十分な外国語表記がない」（女性 31.9% 男性 24.1%）が 7.8 ポイント、「職場において不利な扱いを受ける」（女性 44.2% 男性 36.5%）が 7.7 ポイント高くなっている。



【年齢別】

20歳代以上において「職場において不利な扱いを受ける」、「地域社会で受け入れられない」が高くなっている。

	全体 (人)	職場において不利な扱いを受ける	地域社会で受け入れられない	公共施設等に十分な外国語表記がない	福祉政策が適用されない	アパートなど住居への入居が困難である	ヘイトスピーチを受ける	学校に通っていない不就学の子がいる	選挙権がない	お店等でサービスが受けにくい	結婚問題で、周囲から反対を受ける	その他	特になし	無回答
18・19歳	23	39.1	21.7	30.4	43.5	39.1	43.5	21.7	17.4	21.7	17.4	0.0	13.0	0.0
20歳代	272	41.5	41.2	32.0	27.9	30.5	26.1	21.0	16.9	23.2	19.5	1.8	19.1	0.4
30歳代	449	42.8	35.9	31.0	26.7	29.4	25.6	19.4	16.0	17.1	11.1	2.2	16.9	0.2
40歳代	612	39.1	35.0	24.7	24.7	25.2	22.7	19.8	14.4	11.1	10.8	2.9	19.3	0.3
50歳代	571	42.6	34.9	28.4	29.6	28.4	23.3	20.7	17.2	9.6	8.1	2.3	17.5	0.2
60歳代	455	43.1	35.4	32.5	31.2	28.4	22.2	21.1	14.7	6.6	9.0	3.5	18.7	1.3
70歳代	274	36.5	32.8	24.1	32.1	23.7	11.3	20.4	18.6	2.9	5.8	2.6	26.3	1.8
80歳以上	26	23.1	38.5	26.9	26.9	23.1	7.7	23.1	15.4	0.0	11.5	3.8	23.1	15.4

◎ 外国人の人権を守るために必要なことは「外国人の文化や伝統を尊重し、協調する態度を育むなど、国際理解教育を進める」が3割半ばと高くなっている

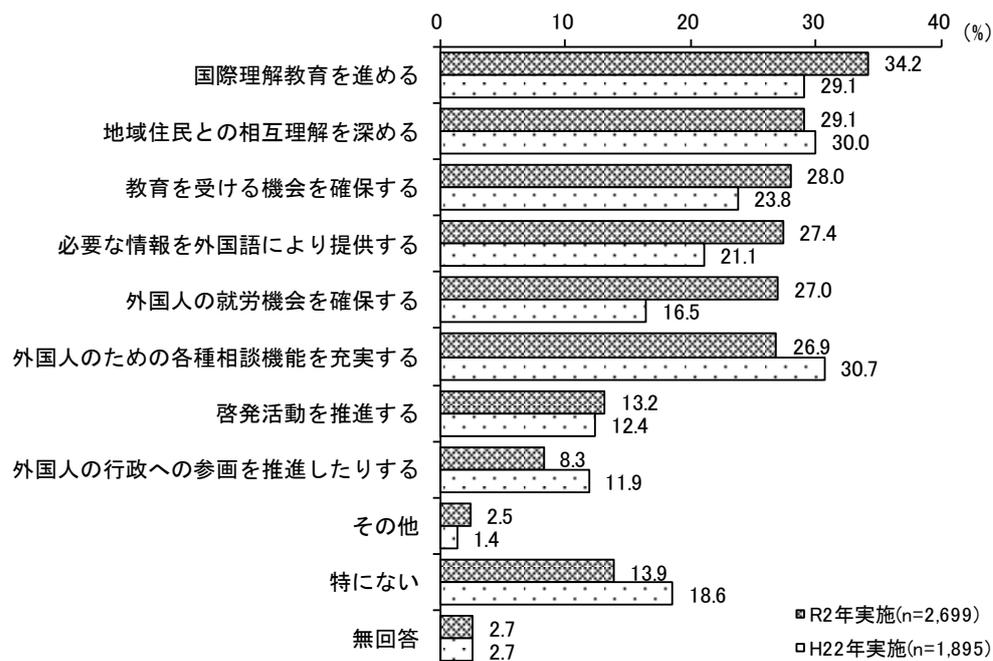
問24. あなたは、外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 外国人の人権を守るための啓発活動を推進する
- 2 外国人のための各種相談機能を充実する
- 3 外国人の就労機会を確保する
- 4 外国人の地方参政権を認めたり、行政への参画を推進したりする
- 5 外国人児童生徒に教育を受ける機会を確保する
- 6 日常生活に必要な情報を外国語により提供する
- 7 外国人の文化や伝統を尊重し、協調する態度を育むなど、国際理解教育を進める
- 8 外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める
- 9 その他
- 10 特にない

【県全域／前回との比較】

外国人の人権を守るために必要なこととして、「外国人の文化や伝統を尊重し、協調する態度を育むなど、国際理解教育を進める」が34.2%で最も高く、次いで、「外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める」が29.1%、「外国人児童生徒に教育を受ける機会を確保する」が28.0%と続いている。

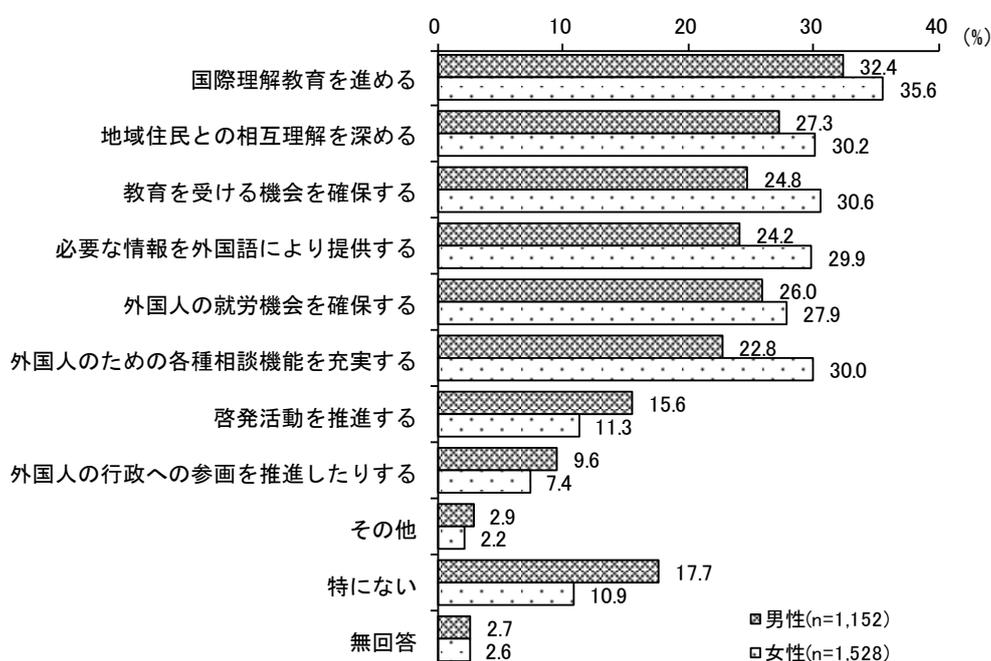
前回調査と比較して、「外国人の就労機会を確保する」(16.5%→27.0%)が10.5ポイント増加している。



II. 調査結果の分析

【性別】

女性は男性よりも「外国人のための各種相談機能を充実する」(女性 30.0% 男性 22.8%)が7.2ポイント高くなっている。



【年齢別】

60歳代以下は「国際理解教育を進める」が、70歳代は「外国人のための各種相談機能を充実する」が最も高くなっている。

	全体 (人)	国際理解教育を進める	地域住民との相互理解を深める	教育を受ける機会を確保する	必要な情報を外国語により提供する	外国人の就労機会を確保する	外国人のための各種相談機能を充実する	啓発活動を推進する	外国人の行政への参画を推進したりする	その他	特になし	無回答
18・19歳	23	47.8	26.1	17.4	26.1	34.8	26.1	17.4	13.0	4.3	8.7	0.0
20歳代	272	41.5	26.8	27.9	29.4	37.1	18.0	9.9	11.4	1.8	12.9	1.8
30歳代	449	38.3	28.7	26.1	31.2	31.8	19.4	12.0	8.7	2.4	12.0	2.7
40歳代	612	33.5	28.6	28.4	26.3	26.8	24.5	10.5	7.7	3.1	13.7	2.0
50歳代	571	32.4	28.7	27.8	26.8	23.8	31.0	12.6	8.4	2.6	14.2	2.1
60歳代	455	33.0	31.0	29.5	28.6	22.6	32.5	17.8	7.7	2.6	13.8	3.3
70歳代	274	27.7	31.0	29.2	23.0	25.9	35.4	17.2	6.6	1.5	17.5	3.3
80歳以上	26	26.9	19.2	38.5	15.4	11.5	26.9	11.5	15.4	0.0	15.4	19.2

9 HIV感染者・ハンセン病患者等の人権

◎ 人権が尊重されていないと感じるのは「差別的な言動をすること」が約5割と最も高くなっている

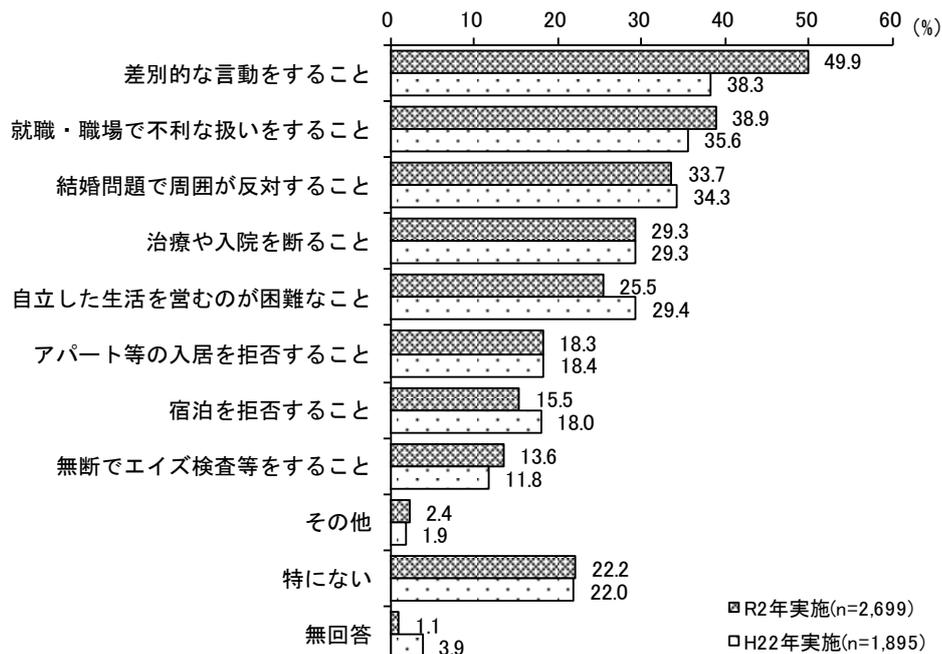
問25. あなたは、HIV感染者・ハンセン病患者等に関して、人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

- 1 結婚問題で周囲が反対すること
- 2 就職・職場で不利な扱いをすること
- 3 治療や入院を断ること
- 4 無断でエイズ検査等をすること
- 5 差別的な言動をすること
- 6 ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難なこと
- 7 アパート等の入居を拒否すること
- 8 宿泊を拒否すること
- 9 その他
- 10 特にない

【県全域／前回との比較】

HIV感染者・ハンセン病患者等の人権が尊重されていないと感じる状況は、「差別的な言動をすること」が49.9%で最も高く、次いで、「就職・職場で不利な扱いをすること」が38.9%、「結婚問題で周囲が反対すること」が33.7%と続いている。

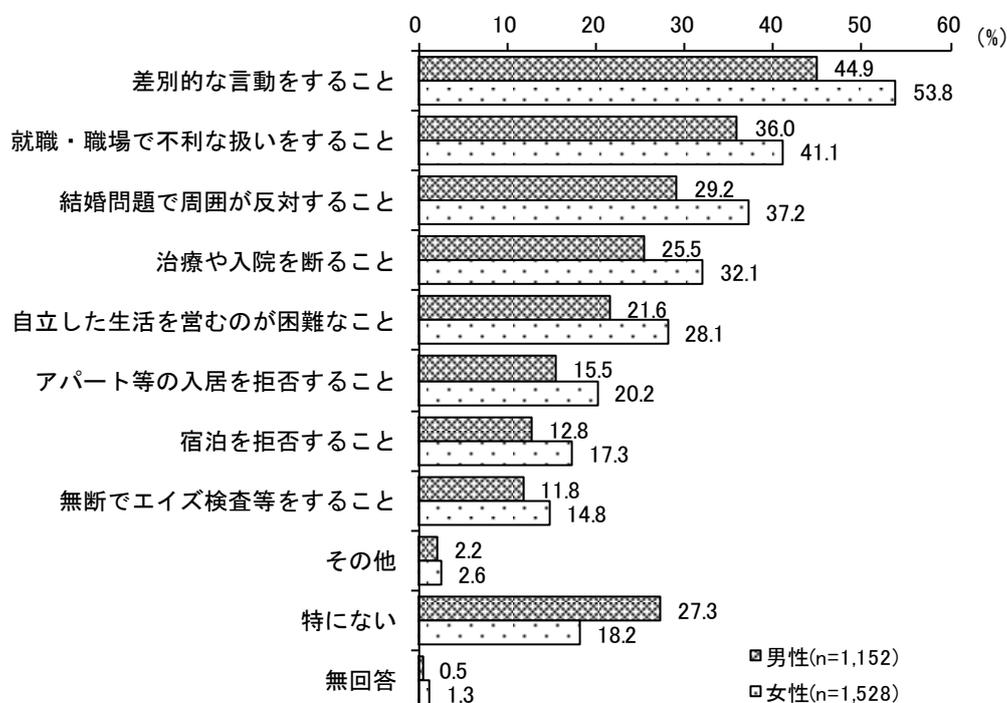
前回調査と比較すると、「差別的な言動をすること」(38.3%→49.9%)が11.6ポイント増加している。



II. 調査結果の分析

【性別】

いずれの項目も女性は男性より高く、特に「差別的な言動をすること」(女性 53.8% 男性 44.9%)が 8.9 ポイント、「結婚問題で周囲が反対すること」(女性 37.2% 男性 29.2%)が 8.0 ポイント高くなっている。男性は女性よりも「特にない」(男性 27.3% 女性 18.2%)が 9.1 ポイント高くなっている。



【年齢別】

20歳代から60歳代は「差別的な言動をすること」が、70歳代は「就職・職場で不利な扱いをすること」が最も高くなっている。

	全体 (人)	と差 別的 な言 動を する こ と	い 就 職 を す る こ と	す 結 婚 問 題 で 周 圍 が 反 対 す る こ と	治 療 や 入 院 を 断 る こ と	が 自 立 し た 生 活 を 営 む の こ と	否 ア パ ー ト 等 の 入 居 を 拒 否 す る こ と	宿 泊 を 拒 否 す る こ と	す 無 断 で エ イ ズ 検 査 等 を す る こ と	そ の 他	特 に な い	無 回 答
18・19歳	23	43.5	30.4	43.5	39.1	21.7	8.7	13.0	26.1	0.0	21.7	0.0
20歳代	272	53.7	31.3	30.1	29.4	18.4	17.6	16.9	12.9	1.5	26.1	0.4
30歳代	449	52.6	35.2	37.2	33.9	18.7	18.3	18.0	13.6	2.4	20.3	0.2
40歳代	612	52.9	38.4	32.4	27.8	24.7	18.5	16.3	14.9	2.5	19.1	0.7
50歳代	571	51.0	40.8	35.0	30.3	28.0	18.2	15.2	14.0	2.5	21.9	0.2
60歳代	455	48.6	45.7	34.1	28.4	34.1	19.3	14.3	12.3	2.4	21.1	2.0
70歳代	274	39.1	40.5	30.3	23.4	24.8	16.4	9.9	10.6	3.3	29.9	2.9
80歳以上	26	23.1	34.6	38.5	30.8	30.8	23.1	19.2	15.4	0.0	26.9	3.8

10 新型コロナウイルス感染症に関する人権

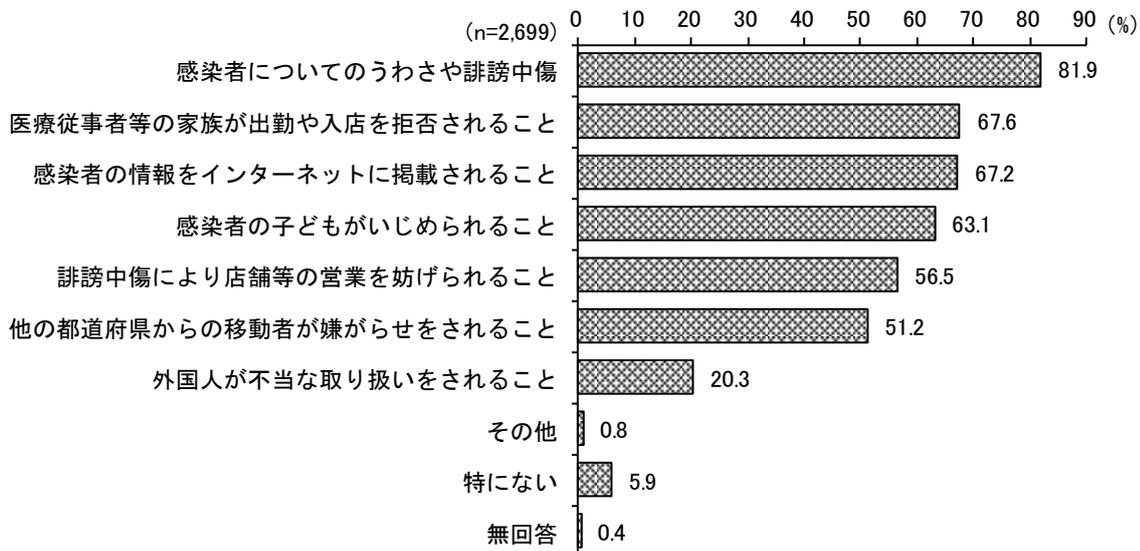
◎ 人権が尊重されていないと感じるのは「感染者やその家族について、うわさされたり、誹謗中傷（ひどい悪口）をされたりすること」が約8割と最も高くなっている

問26. あなたは、新型コロナウイルス感染症に関連して、人権が尊重されていないと感じるのはどのような状況に対してですか。（該当するものすべてに○）

- 1 感染者やその家族について、うわさされたり、誹謗中傷（ひどい悪口）をされたりすること
- 2 感染者やその家族の氏名・住所等の情報がインターネットに掲載されたり、書き込みをされたりすること
- 3 感染者の子どもがいじめられること
- 4 医療従事者等の家族が出勤や店舗等への入店を拒否されたり、子どもの登校・登園を拒否されたりすること
- 5 いわれのない誹謗中傷（ひどい悪口）により店舗等の営業を妨げられること
- 6 他の都道府県からの移動者が嫌がらせをされること
- 7 外国人であることをもって、不当な取り扱いをされること
- 8 その他
- 9 特にない

【県全域】

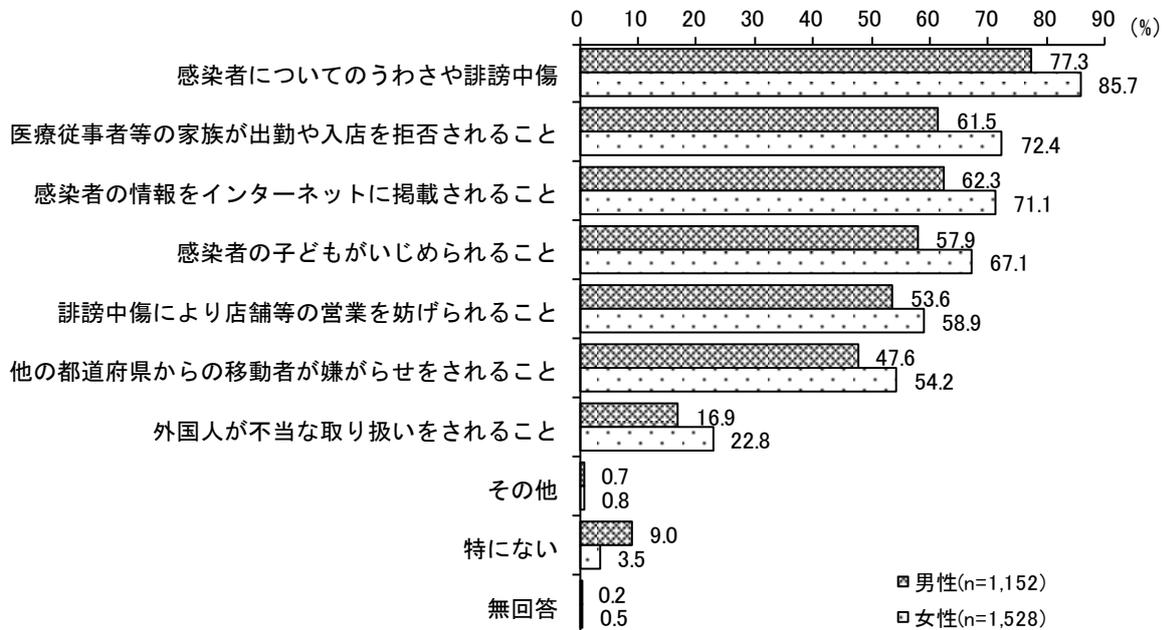
新型コロナウイルス感染症に関して人権が尊重されていないと感じる状況は、「感染者やその家族について、うわさされたり、誹謗中傷（ひどい悪口）をされたりすること」が81.9%で最も高く、次いで、「医療従事者等の家族が出勤や店舗等への入店を拒否されたり、子どもの登校・登園を拒否されたりすること」が67.6%、「感染者やその家族の氏名・住所等の情報がインターネットに掲載されたり、書き込みをされたりすること」が67.2%の順となっている。



II. 調査結果の分析

【性別】

男女ともに「感染者についてのうわさや誹謗中傷」が最も高く、いずれも75%以上となっている。いずれの項目においても女性が男性より高く、特に「医療従事者等の家族が出勤や入店を拒否されること」(女性72.4% 男性61.5%)が10.9ポイント、「感染者の子どもがいじめられること」(女性67.1% 男性57.9%)が9.2ポイント高くなっている。



【年齢別】

各年代において「感染者についてのうわさや誹謗中傷」が最も高くなっている。

	全体 (人)	さ や 感 染 者 に つ い て の う わ さ や 誹 謗 中 傷	る こ と や 入 店 を 拒 否 さ れ る こ と	医 療 従 事 者 等 の 家 族 が 出 勤 や 入 店 を 拒 否 さ れ る こ と	タ ー ゲ ッ ト に 報 告 さ れ る こ と	感 染 者 の こ ど も が い じ め ら れ る こ と	め か ら れ る こ と	と の 営 業 を 妨 げ ら れ る こ と	誹 謗 中 傷 に よ り 店 舗 等 の 営 業 を 妨 げ ら れ る こ と	動 者 が 嫌 が ら せ を さ れ る こ と	他 の 都 道 府 県 か ら の 移 動 者 が 嫌 が ら せ を さ れ る こ と	い を さ れ る こ と	外 国 人 が 不 当 な 取 り 扱 い を さ れ る こ と	そ の 他	特 に な い	無 回 答
18・19歳	23	95.7	56.5	56.5	60.9	56.5	43.5	26.1	0.0	4.3	0.0					
20歳代	272	79.4	59.9	69.1	61.0	54.0	55.9	29.0	1.5	7.7	0.4					
30歳代	449	83.1	69.5	73.7	69.0	58.8	57.0	22.3	0.7	5.1	0.0					
40歳代	612	85.1	66.5	68.3	63.1	59.5	53.8	20.9	1.0	4.9	0.0					
50歳代	571	81.8	70.6	68.0	63.2	61.3	54.1	19.1	0.5	4.6	0.2					
60歳代	455	80.2	72.3	64.2	59.3	52.3	45.9	18.5	0.7	6.6	0.2					
70歳代	274	78.5	64.2	58.8	63.5	47.1	38.0	12.8	0.7	8.8	1.8					
80歳以上	26	80.8	53.8	61.5	53.8	53.8	30.8	15.4	0.0	7.7	3.8					

1 1 犯罪被害者やその家族の人権

- ◎ 人権が尊重されていないと感じるのは「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穩が保てなくなったりすること」が7割を超えている

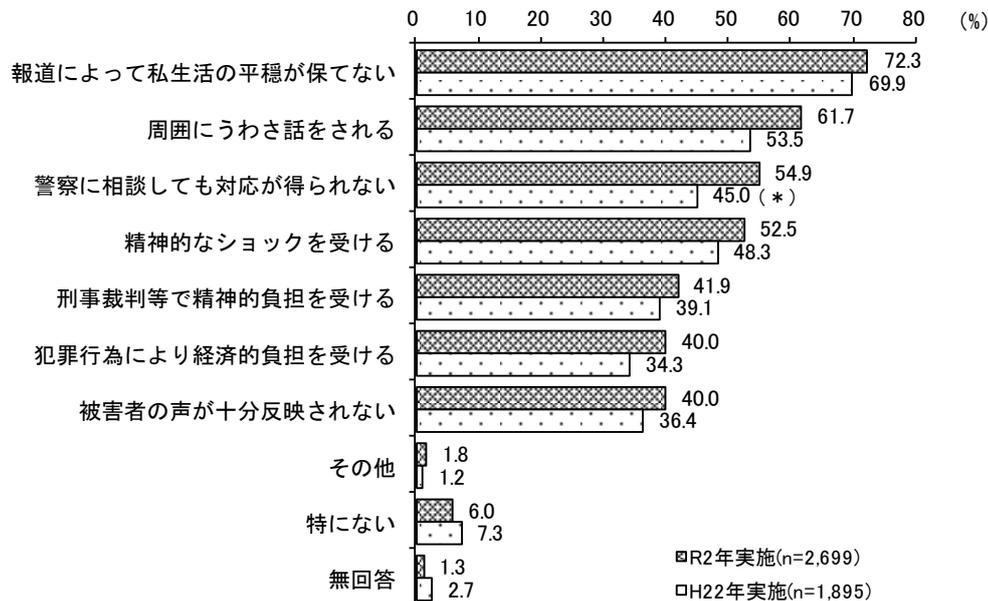
問27. あなたは、犯罪被害者等に関して、人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

- 1 犯罪行為によって精神的なショックを受けること
- 2 犯罪行為によって経済的負担を受けること
- 3 事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること
- 4 警察に相談しても期待どおりの対応が得られないこと
- 5 捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること
- 6 刑事裁判手続に必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと
- 7 報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穩が保てなくなったりすること
- 8 その他
- 9 特にない

【県全域／前回との比較】

犯罪被害者等の人権が尊重されていないと感じる状況は、「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穩が保てなくなったりすること」が72.3%で最も高く、次いで、「事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること」が61.7%、「警察に相談しても期待どおりの対応が得られないこと」が54.9%の順となっている。

前回調査と比較すると、「警察に相談しても対応が得られない」(45.0%→54.9%)が9.9ポイント増加している。

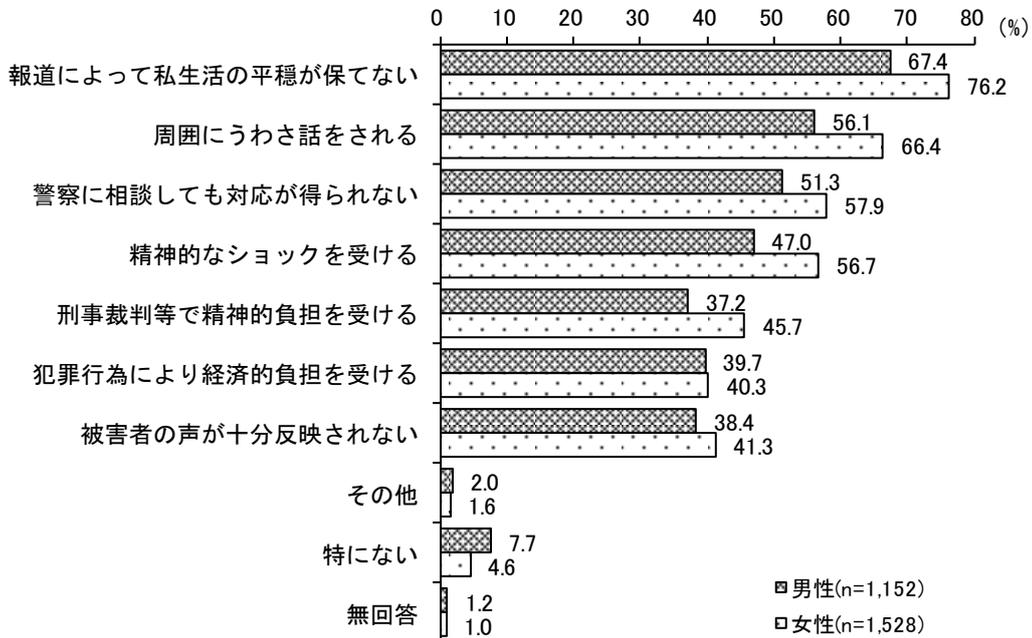


* : H22年は「警察に相談しても期待どおりの結果が得られないこと」

II. 調査結果の分析

【性別】

いずれの項目も女性は男性より高く、特に「周囲にうわさ話をされる」(女性 66.4% 男性 56.1%) が 10.3 ポイント、「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」(女性 56.7% 男性 47.0%) が 9.7 ポイント高くなっている。



【年齢別】

各年代において「報道によって私生活の平穏が保てない」、「周囲にうわさ話をされる」が高くなっている。

	全体 (人)	報道によつて 私生活の 平穏が保て ない	周囲に うわさ話 をされ る	警察に 相談し ても 対応 が得ら れない	精神的 なシ ョック を受 ける	刑事 裁判 等で 精神 的負 担を受 ける	犯罪 行為 によ り経 済的 負担 を受 ける	被害 者の 声 が 十 分 反 映 され ない	そ の 他	特 に な い	無 回 答
18・19歳	23	65.2	73.9	65.2	47.8	30.4	43.5	26.1	0.0	4.3	0.0
20歳代	272	70.6	65.8	62.1	51.8	38.6	40.1	45.2	1.1	6.3	0.4
30歳代	449	69.7	65.9	57.2	51.9	40.5	40.5	37.4	2.0	6.0	0.2
40歳代	612	77.5	63.7	57.2	55.2	46.4	42.8	43.3	3.1	3.9	0.3
50歳代	571	75.5	63.6	57.3	56.4	47.8	42.2	44.0	1.2	5.4	1.1
60歳代	455	73.4	56.7	51.6	50.3	42.4	39.8	39.1	1.5	6.8	1.8
70歳代	274	63.1	52.6	42.7	45.6	29.6	29.6	28.8	0.7	9.9	3.6
80歳以上	26	46.2	53.8	26.9	46.2	11.5	38.5	15.4	0.0	7.7	3.8

1.2 刑を終えて出所した人の人権

◎ 立ち直ろうとした場合の問題は「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」が6割半ばと最も高くなっている

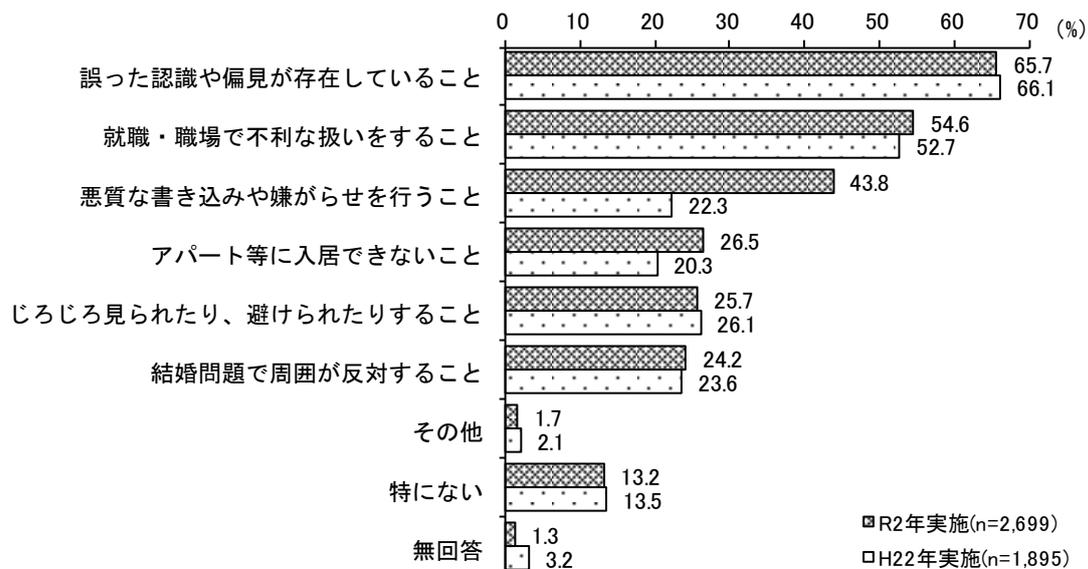
問28. あなたは、罪や非行を犯した人が、罪をつぐなって社会の一員として立ち直ろうとした場合、どのような問題があると思いますか。(該当するものすべてに○)

- 1 更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること
- 2 就職・職場で不利な扱いをすること
- 3 アパート等に入居できないこと
- 4 結婚問題で周囲が反対すること
- 5 じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 6 メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと
- 7 その他
- 8 特にない

【県全域／前回との比較】

罪や非行を犯した人が社会の一員として立ち直ろうとした場合の問題は、「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」が65.7%で最も高く、次いで、「就職・職場で不利な扱いをすること」が54.6%、「メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと」が43.8%の順となっている。

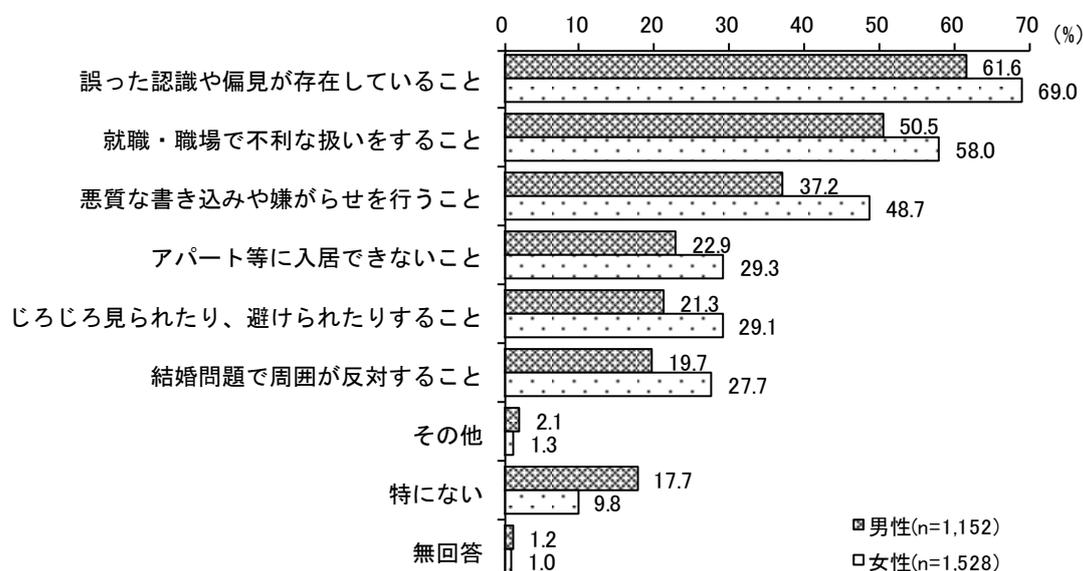
前回調査と比較すると、「悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと」(22.3%→43.8%)が21.5ポイントと大きく増加している。



II. 調査結果の分析

【性別】

男女ともに「誤った認識や偏見が存在していること」が最も高く、60%以上となっている。いずれの項目においても女性が男性より高く、特に「悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと」（女性48.7% 男性37.2%）が11.5ポイント高くなっている。男性は女性よりも「特にない」（男性17.7% 女性9.8%）が7.9ポイント高くなっている。



【年齢別】

各年代において「誤った認識や偏見が存在していること」が最も高く、特に70歳代では74.1%となっている。

	全体 (人)	在誤 した 認識 や偏 見が 存 在 す る こ と	い就 職す ・職 場 で 不 利 な 扱 い を す る こ と	ら悪 質 な 書 き 込 み や 嫌 が ら せ を 行 う こ と	なア パ ー ト 等 に 入 居 で き な い こ と	避じ ろ じ ろ 見 ら れ た り す る こ と	す結 婚 問 題 で 周 圍 が 反 対 す る こ と	そ の 他	特 に な い	無 回 答
18・19歳	23	65.2	43.5	60.9	17.4	39.1	4.3	0.0	8.7	0.0
20歳代	272	64.0	56.3	49.3	25.0	36.0	27.6	1.1	13.2	0.4
30歳代	449	59.7	47.7	42.5	21.6	26.9	27.4	1.6	18.3	0.7
40歳代	612	63.4	55.1	47.4	27.1	21.1	23.9	2.1	13.2	0.7
50歳代	571	66.9	56.9	45.7	28.5	24.9	23.5	1.6	12.1	0.7
60歳代	455	69.7	58.7	42.0	29.7	26.6	22.4	1.8	10.5	1.5
70歳代	274	74.1	54.4	31.4	26.6	24.5	21.9	1.5	12.0	3.3
80歳以上	26	73.1	53.8	30.8	19.2	15.4	38.5	0.0	11.5	3.8

1.3 インターネットによる人権問題

◎ 人権侵害に関する問題は「他人への誹謗中傷（ひどい悪口）を掲載したり、書き込みをしたりすること」が約9割と最も高くなっている

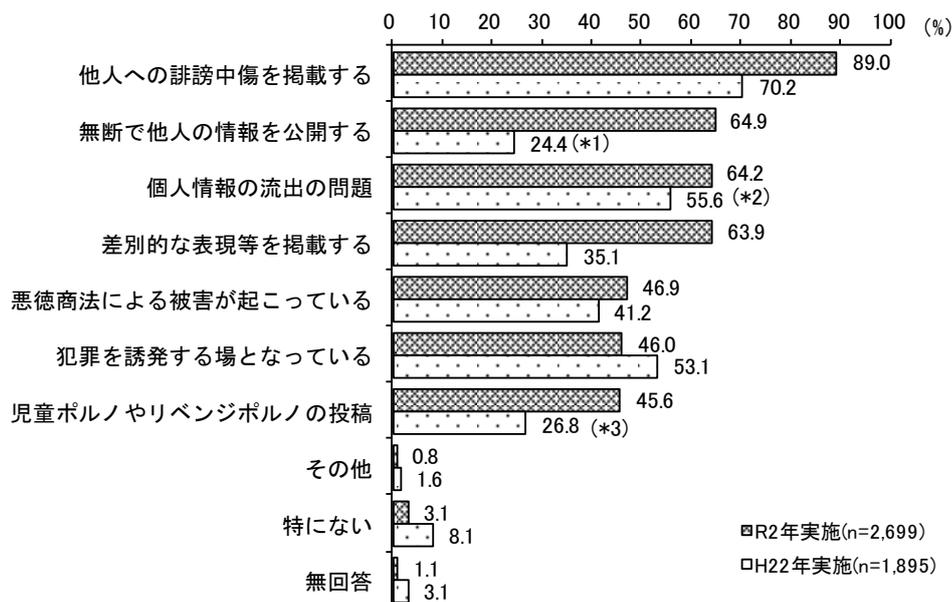
問29. あなたは、インターネット上での人権侵害に関して、現在、どのような問題が起きていると思いますか。（該当するものすべてに○）

- 1 他人への誹謗中傷（ひどい悪口）を掲載したり、書き込みをしたりすること
- 2 差別的な表現や差別を助長するような表現を掲載したり、書き込みをしたりすること
- 3 出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること
- 4 無断で他人の氏名や住所、写真などをインターネット上に公開すること
- 5 児童ポルノやリベンジポルノが投稿されること
- 6 個人情報の流出などインターネット上の自分に関する情報のコントロールができないこと
- 7 悪徳商法によるインターネット取引での被害が起きていること
- 8 その他
- 9 特にない

【県全域／前回との比較】

インターネット上での人権侵害に関する問題は、「他人への誹謗中傷（ひどい悪口）を掲載したり、書き込みをしたりすること」が89.0%と最も高くなっている。次いで、「無断で他人の氏名や住所、写真などをインターネット上に公開すること」が64.9%、「個人情報の流出などインターネット上の自分に関する情報のコントロールができないこと」が64.2%、「差別的な表現や差別を助長するような表現を掲載したり、書き込みをしたりすること」が63.9%と続いている。

前回調査と比較すると、「差別的な表現等を掲載する」（35.1%→63.9%）が28.8ポイントと大きく増加している。



*1：H22年は「捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載する」

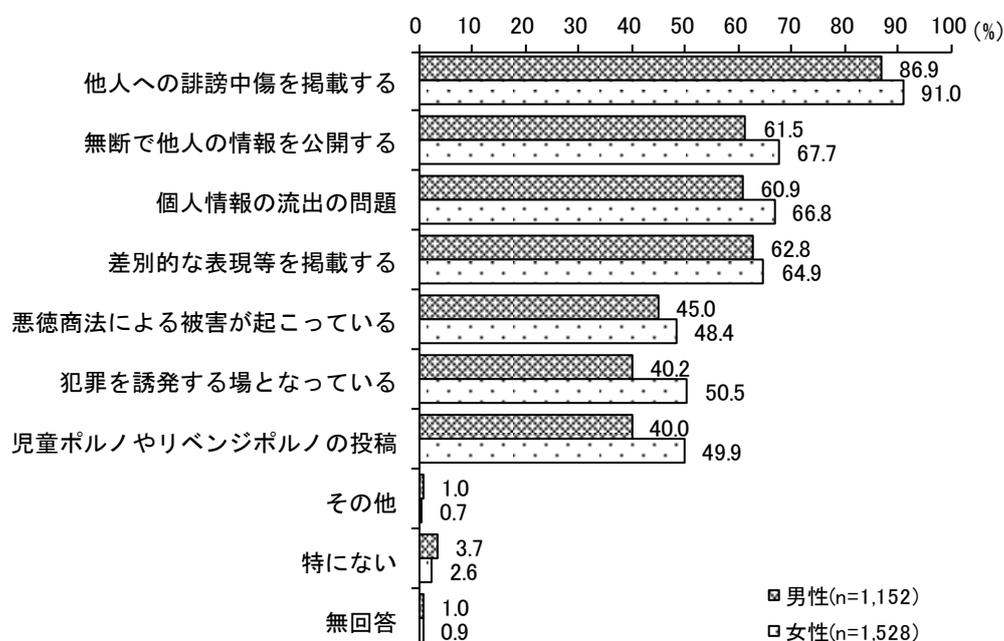
*2：H22年は「個人情報の流出などの問題が多く発生している」

*3：H22年は「ネットポルノが存在する」

II. 調査結果の分析

【性別】

男女ともに「他人への誹謗中傷を掲載する」が最も高くなっている。いずれの項目においても女性が男性より高く、特に「犯罪を誘発する場となっている」（女性 50.5% 男性 40.2%）が 10.3 ポイント、「児童ポルノやリベンジポルノの投稿」（女性 49.9% 男性 40.0%）が 9.9 ポイント高くなっている。



【年齢別】

各年代において「他人への誹謗中傷を掲載する」が最も高く、特に 30 歳代から 50 歳代が 90%を超え高くなっている。

	全体 (人)	他人への誹謗中傷を掲載する	無断で他人の情報を公開する	個人情報の流出の問題	差別的な表現等を掲載する	悪徳商法による被害が起こっている	犯罪を誘発する場となっている	児童ポルノやリベンジポルノの投稿	その他	特にない	無回答
18・19歳	23	91.3	82.6	47.8	65.2	43.5	39.1	43.5	0.0	0.0	0.0
20歳代	272	87.1	70.2	63.6	67.3	41.5	37.9	41.2	0.7	2.2	0.4
30歳代	449	92.0	70.4	69.0	66.1	44.1	40.5	48.6	0.4	2.0	0.2
40歳代	612	91.3	72.5	69.6	66.5	45.4	39.7	49.2	0.8	1.1	0.3
50歳代	571	91.6	66.4	65.8	64.1	52.7	51.7	50.6	0.5	2.5	0.5
60歳代	455	88.4	58.0	63.5	64.0	48.8	54.7	43.3	2.0	5.5	2.0
70歳代	274	79.2	43.8	48.5	54.0	45.6	51.8	32.5	0.0	7.3	2.9
80歳以上	26	76.9	46.2	23.1	42.3	42.3	46.2	34.6	0.0	7.7	3.8

◎ インターネット上の人権を守るために必要なことは「不当・違法な情報発信者に対する監視・取り締まりを強化する」が6割半ばと最も高くなっている

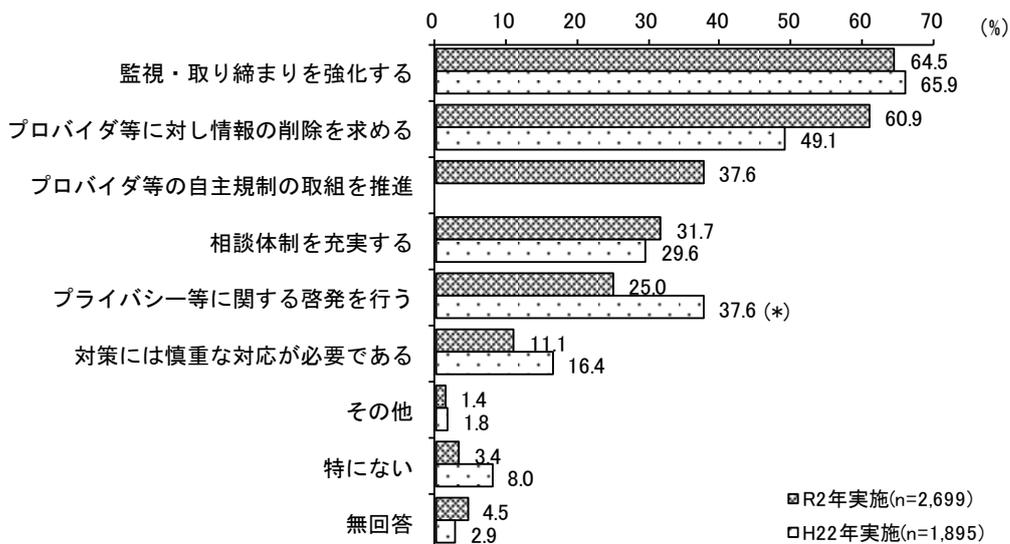
問30. あなたは、インターネット上の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 インターネットによる人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する
- 2 利用者に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を広める啓発を行う
- 3 プロバイダ（インターネット接続業者）等の自主規制の取組を推進させる
- 4 プロバイダ（インターネット接続業者）等に対し、人権を侵害する情報の削除を求めることができる簡易な制度を整備する
- 5 不当・違法な情報発信者に対する監視・取り締まりを強化する
- 6 表現の自由に関わる問題であり、様々な対策には慎重な対応が必要である
- 7 その他
- 8 特にない

【県全域／前回との比較】

インターネット上の人権を守るために必要なこととして、「不当・違法な情報発信者に対する監視・取り締まりを強化する」が64.5%で最も高く、次いで、「プロバイダ（インターネット接続業者）等に対し、人権を侵害する情報の削除を求めることができる簡易な制度を整備する」が60.9%、「プロバイダ（インターネット接続業者）等の自主規制の取組を推進させる」が37.6%と続いている。

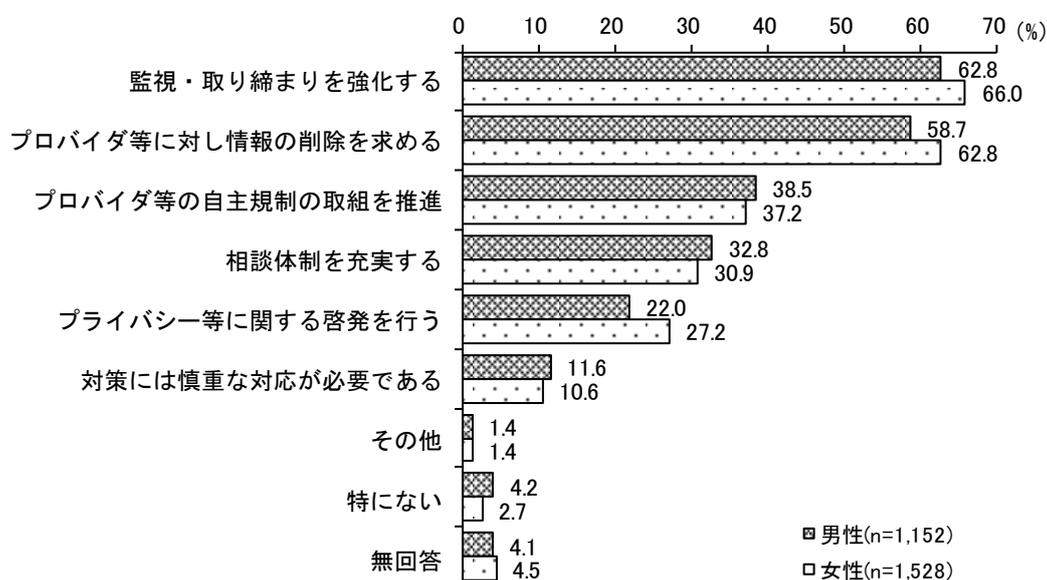
前回調査と比較すると、「プロバイダ等に対し情報の削除を求める」（49.1%→60.9%）が11.8ポイント増加している。



* : H22年は「利用者やプロバイダ（インターネット接続業者）などに対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深める」

【性別】

男女ともに「監視・取り締まりを強化する」、「プロバイダ等に対し情報の削除を求める」が高くなっている。



【年齢別】

各年代において「監視・取り締まりを強化する」、「プロバイダ等に対し情報の削除を求める」が高くなっている。

	全体 (人)	監視・ 取り締 まりを強 化する	プロ バイダ 等に対 し情報 の削除 を求め る	プロ バイダ 等の自 主規制 を推進	相 談体 制を充 実する	プ ライ バシー 等に関 する啓 発を行 う	必 要な 対策 は慎重 な対応 が	そ の他	特 にな い	無 回 答
18・19歳	23	52.2	47.8	26.1	34.8	30.4	34.8	0.0	0.0	0.0
20歳代	272	59.2	51.8	32.0	28.7	34.2	22.4	1.8	4.0	2.2
30歳代	449	64.6	55.5	36.1	30.5	28.3	15.1	2.2	2.4	3.6
40歳代	612	66.8	63.9	41.2	28.3	22.5	8.2	2.3	1.8	3.1
50歳代	571	69.4	66.0	41.0	31.5	24.5	7.7	0.5	1.8	4.4
60歳代	455	62.6	65.7	37.6	35.2	23.3	6.8	0.9	5.5	6.4
70歳代	274	62.0	57.3	33.6	36.9	19.0	10.9	0.4	7.7	6.6
80歳以上	26	38.5	50.0	34.6	46.2	34.6	23.1	0.0	3.8	7.7

1.4 性的マイノリティ（LGBT等）の人権

◎ 人権が尊重されていないと感じるのは「性的マイノリティに対する理解が足りないこと」が約6割と最も高くなっている

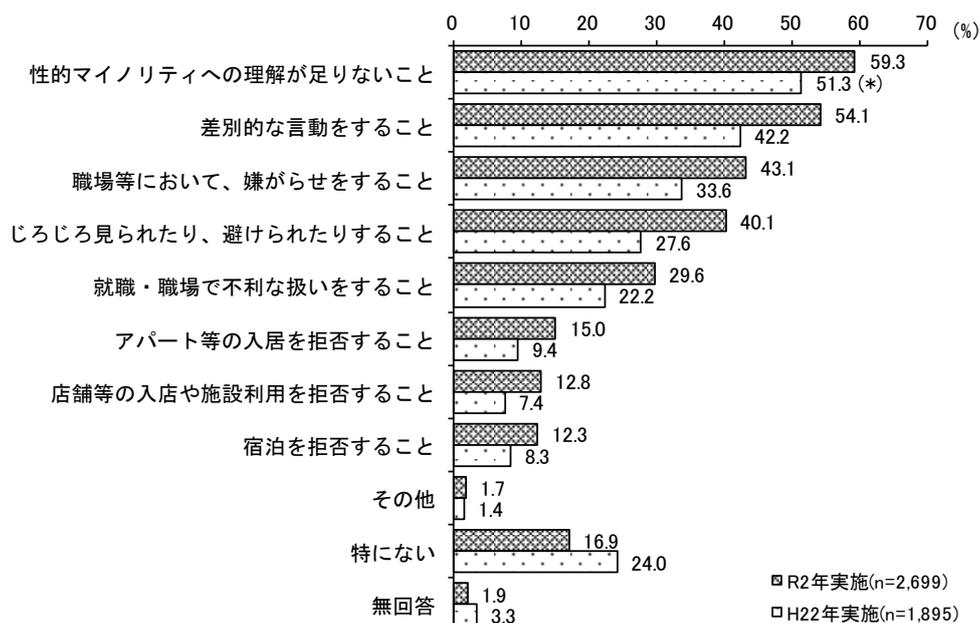
問31. あなたは、性的マイノリティの人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。（該当するものすべてに○）

- 1 職場、学校において、嫌がらせをすること
- 2 差別的な言動をすること
- 3 じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 4 性的マイノリティに対する理解が足りないこと
- 5 就職・職場で不利な扱いをすること
- 6 アパート等の入居を拒否すること
- 7 宿泊を拒否すること
- 8 店舗等への入店や施設利用を拒否すること
- 9 その他
- 10 特にない

【県全域／前回との比較】

性的マイノリティの人権が尊重されていないと感じる状況は、「性的マイノリティに対する理解が足りないこと」が59.3%で最も高く、次いで、「差別的な言動をすること」が54.1%、「職場、学校において、嫌がらせをすること」が43.1%と続いている。

前回調査と比較すると、いずれの項目も増加傾向にあり、特に「じろじろ見られたり、避けられたりすること」（27.6%→40.1%）が12.5ポイント、「差別的な言動をすること」（42.2%→54.1%）が11.9ポイントと大きく増加している。

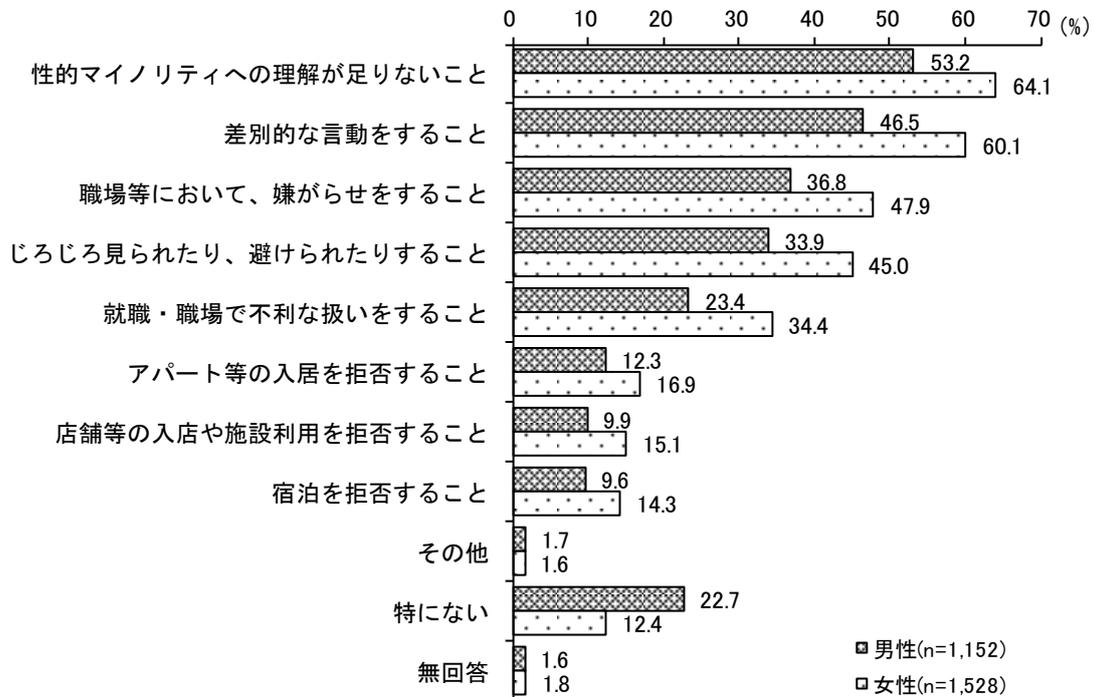


* : H22年は「性同一性障害者や性的指向の異なる人に対する理解が足りないこと」

II. 調査結果の分析

【性別】

いずれの項目も女性は男性より高く、特に「差別的な言動をすること」(女性 60.1% 男性 46.5%) が 13.6 ポイント高くなっている。また男性は女性より「特にない」(男性 22.7% 女性 12.4%) が 10.3 ポイント高くなっている。



【年齢別】

18・19歳、80歳以上を除いて「性的マイノリティへの理解が足りないこと」が最も高くなっている。「差別的な言動をすること」は高齢層になるに従い減少している。

	全体 (人)	性的マイノリティへの理解が足りないこと	差別的な言動をすること	職場等において、嫌がらせをすること	じろじろ見られたり、避けられたりすること	就職・職場で不利な扱いをすること	アパート等の入居を拒否すること	店舗等の入店や施設利用を拒否すること	宿泊を拒否すること	その他	特にない	無回答
18・19歳	23	60.9	73.9	47.8	56.5	21.7	17.4	17.4	8.7	4.3	4.3	0.0
20歳代	272	69.1	65.4	52.6	48.9	33.5	22.8	17.6	20.2	2.6	11.8	0.7
30歳代	449	60.8	60.1	46.8	41.6	27.2	13.4	14.3	12.9	1.6	14.7	0.4
40歳代	612	61.9	52.9	43.3	41.8	30.7	14.7	12.1	12.6	2.3	13.2	1.1
50歳代	571	59.9	54.5	42.4	39.6	31.3	16.3	13.8	12.6	1.4	17.5	0.2
60歳代	455	57.4	50.3	38.0	38.0	28.8	12.5	10.1	9.9	1.3	21.1	2.9
70歳代	274	47.4	42.3	38.7	29.2	27.4	11.7	9.9	7.3	0.4	25.2	6.9
80歳以上	26	30.8	38.5	30.8	46.2	19.2	15.4	7.7	3.8	3.8	23.1	3.8

◎ 性的マイノリティの人権を守るために必要なことは「学校において、性的マイノリティについて理解を深める教育を充実する」が約5割と最も高くなっている

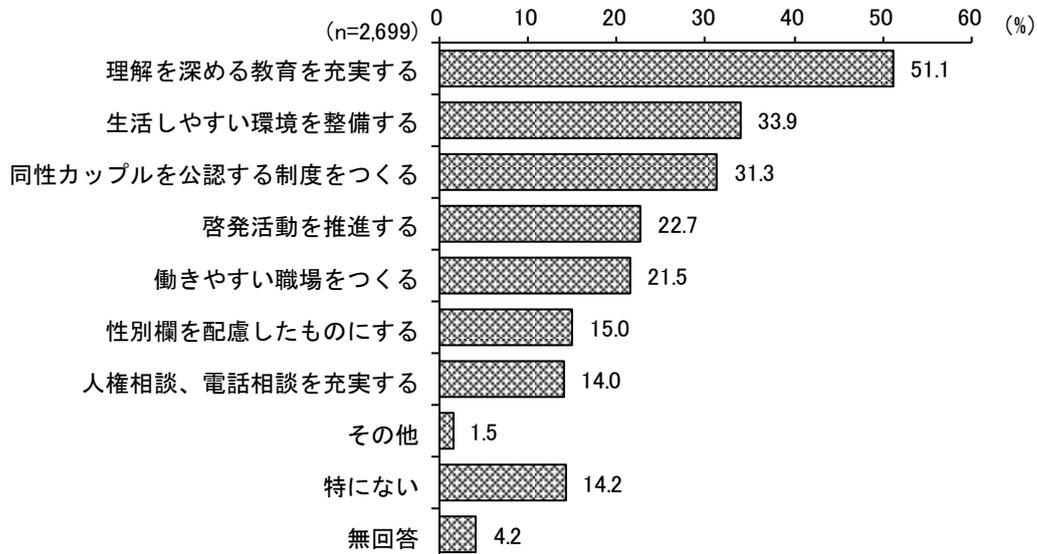
問32. 性的マイノリティの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(○は3つまで)

- 1 性的マイノリティの人権を守るための啓発活動を推進する
- 2 性的マイノリティのための人権相談、電話相談を充実する
- 3 学校において、性的マイノリティについて理解を深める教育を充実する
- 4 パートナーシップ宣誓制度など、同性カップルを公認する制度をつくる
- 5 性的マイノリティが働きやすい職場をつくる
- 6 公共施設や店舗等のトイレや更衣室など、性的マイノリティが生活しやすい環境を整備する
- 7 役場への申請書やアンケートの性別欄を性的マイノリティに配慮したものにする
- 8 その他
- 9 特にない

【県全域】

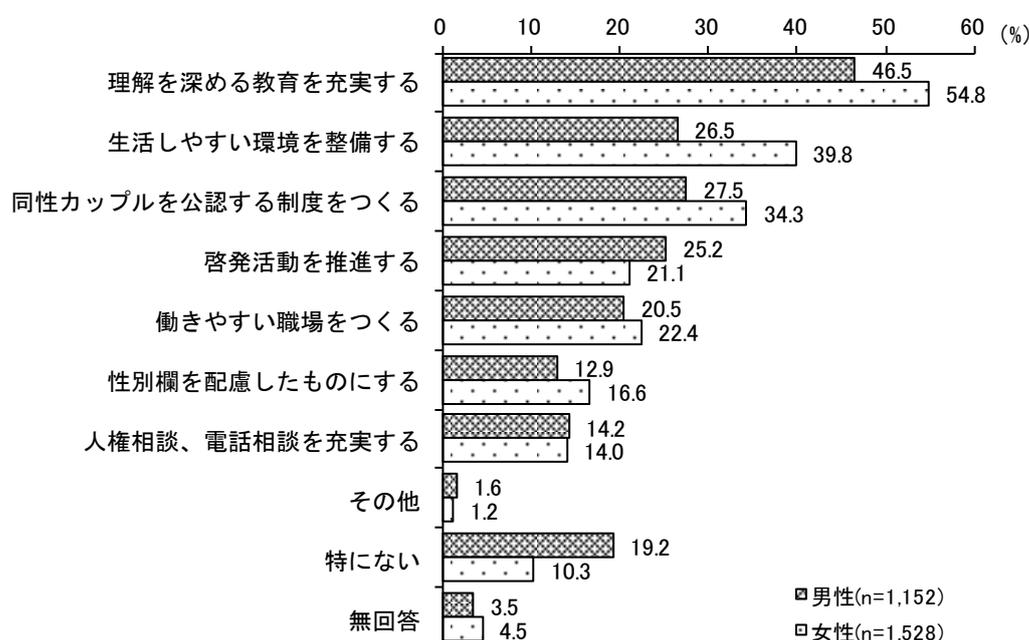
性的マイノリティの人権を守るために必要なこととして、「学校において、性的マイノリティについて理解を深める教育を充実する」が51.1%で最も高く、次いで、「公共施設や店舗等のトイレや更衣室など、性的マイノリティが生活しやすい環境を整備する」が33.9%、「パートナーシップ宣誓制度など、同性カップルを公認する制度をつくる」が31.3%と続いている。



II. 調査結果の分析

【性別】

男女ともに「理解を深める教育を充実する」が最も高くなっている。女性は男性よりも「生活しやすい環境を整備する」（女性 39.8% 男性 26.5%）が 13.3 ポイント高くなっている。



【年齢別】

80 歳以上を除いて「理解を深める教育を充実する」が最も高くなっている。「同性カップルを公認する制度をつくる」は若年層になるに従い増加する傾向がある。

	全体 (人)	理解を深める教育を充 実する	生活しやすい環境を整 備する	同性カ ップル を公認 する	啓 発活 動を 推 進す る	働 きや す い 職 場 を つ く る	性 別 欄 を 配 慮 し た も の に す る	人 権 相 談 、 電 話 相 談 を 充 実 す る	そ の 他	特 に な い	無 回 答
18・19歳	23	47.8	30.4	39.1	21.7	21.7	26.1	30.4	0.0	8.7	0.0
20歳代	272	58.5	39.3	55.5	14.7	23.5	18.4	11.4	0.7	9.9	3.3
30歳代	449	55.5	35.9	43.9	19.2	22.9	14.7	9.8	1.3	10.5	3.1
40歳代	612	54.9	36.3	32.4	22.7	25.3	12.4	8.7	2.6	12.6	2.5
50歳代	571	49.9	33.5	27.7	24.3	22.4	15.4	16.6	1.6	14.7	1.9
60歳代	455	49.0	33.4	18.0	26.8	19.3	14.9	19.8	1.3	15.4	6.4
70歳代	274	38.7	22.6	16.4	26.6	12.4	16.8	19.3	0.4	24.1	9.9
80歳以上	26	23.1	38.5	15.4	30.8	11.5	15.4	15.4	0.0	23.1	7.7

15 拉致問題

- ◎ 拉致被害者等に関して起きている人権問題は「未帰還の拉致被害者の家族にとって、被害者の生死などの情報が全く得られないこと」「拉致被害者及びその家族と一緒に生活するという当然の権利が奪われていること」が高くなっている
-

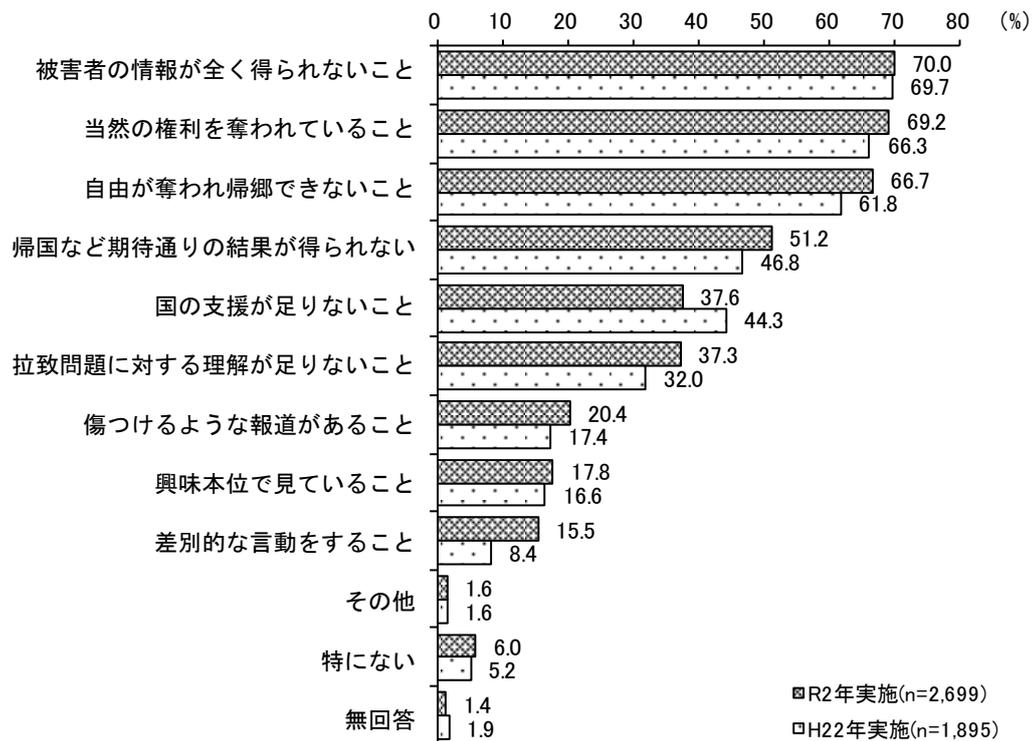
問33. あなたは、北朝鮮当局によって拉致された被害者等に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。(該当するものすべてに○)

- 1 拉致被害者は、身体や居住移転の自由が奪われ帰郷できないこと
- 2 拉致被害者及びその家族と一緒に生活するという当然の権利が奪われていること
- 3 未帰還の拉致被害者の家族にとって、被害者の生死などの情報が全く得られないこと
- 4 国同士の問題であるため、帰国など期待通りの結果が得られないこと
- 5 拉致被害者と家族への差別的な言動をすること
- 6 拉致被害者と家族を傷つけるような報道があること
- 7 拉致被害者と家族を興味本位で見ていること
- 8 拉致問題に対する理解が足りないこと
- 9 拉致被害者等に対する国の支援が足りないこと
- 10 その他
- 11 特になし

【県全域／前回との比較】

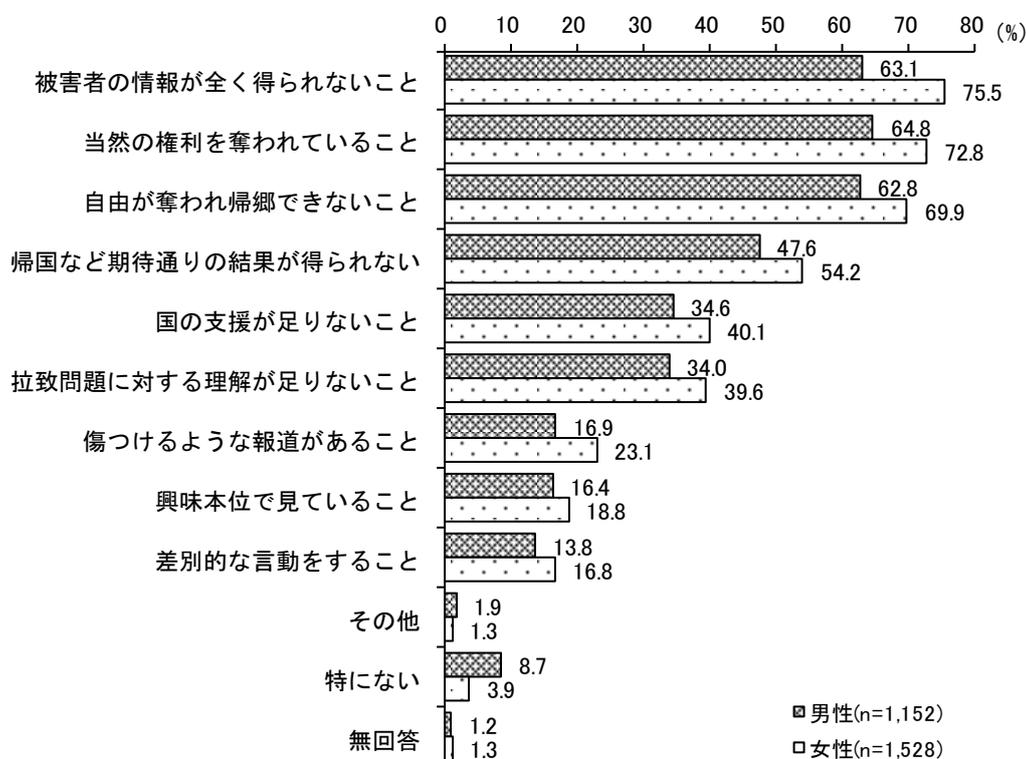
北朝鮮当局によって拉致された被害者等の人権上問題と思うものを聞いたところ、「未帰還の拉致被害者の家族にとって、被害者の生死などの情報が全く得られないこと」が 70.0%と最も高く、次いで、「拉致被害者及びその家族は一緒に生活するという当然の権利が奪われていること」が 69.2%、「拉致被害者は、身体や居住移転の自由が奪われ帰郷できないこと」が 66.7%で、いずれも 60%を超えている。

前回調査と比較すると、「差別的な言動をすること」(8.4%→15.5%)が 7.1 ポイント高くなっている。



【性別】

いずれの項目も女性は男性より高く、特に「被害者の情報が全く得られないこと」（女性75.5% 男性63.1%）が12.4ポイント高くなっている。



【年齢別】

各年代において「被害者の情報が全く得られないこと」、「当然の権利を奪われていること」、「自由が奪われ帰郷できないこと」が高くなっている。

	全体 (人)	被害者の情報が全く得られないこと	当然の権利を奪われていること	自由が奪われ帰郷できないこと	帰国など期待通りの結果が得られないこと	国の支援が足りないこと	拉致問題に対する理解が足りないこと	傷つけるような報道があること	興味本位で見ていること	差別的な言動をすること	その他	特になし	無回答
18・19歳	23	56.5	73.9	60.9	47.8	26.1	52.2	26.1	17.4	26.1	0.0	4.3	0.0
20歳代	272	65.8	59.9	62.5	44.5	31.3	43.8	26.1	25.0	23.9	1.1	9.6	0.7
30歳代	449	64.1	65.3	65.3	48.6	31.6	37.9	24.3	19.8	16.9	0.9	9.1	0.4
40歳代	612	69.1	68.1	68.8	49.7	34.2	37.9	23.7	19.9	17.2	1.8	5.7	0.8
50歳代	571	75.8	75.3	73.0	55.0	41.9	36.8	22.2	17.7	16.8	1.6	4.2	0.0
60歳代	455	73.2	73.8	64.8	56.7	43.5	38.5	13.8	14.3	11.2	1.5	4.6	2.0
70歳代	274	72.3	67.2	61.7	51.1	43.8	28.1	10.2	9.9	6.6	2.6	4.4	5.5
80歳以上	26	61.5	69.2	53.8	42.3	46.2	23.1	0.0	7.7	3.8	3.8	0.0	3.8

1.6 ホームレスの人権問題

◎ 人権が尊重されていないと感じるのは「経済的に自立が困難なこと」「通行人が暴力をふるうこと」が高くなっている

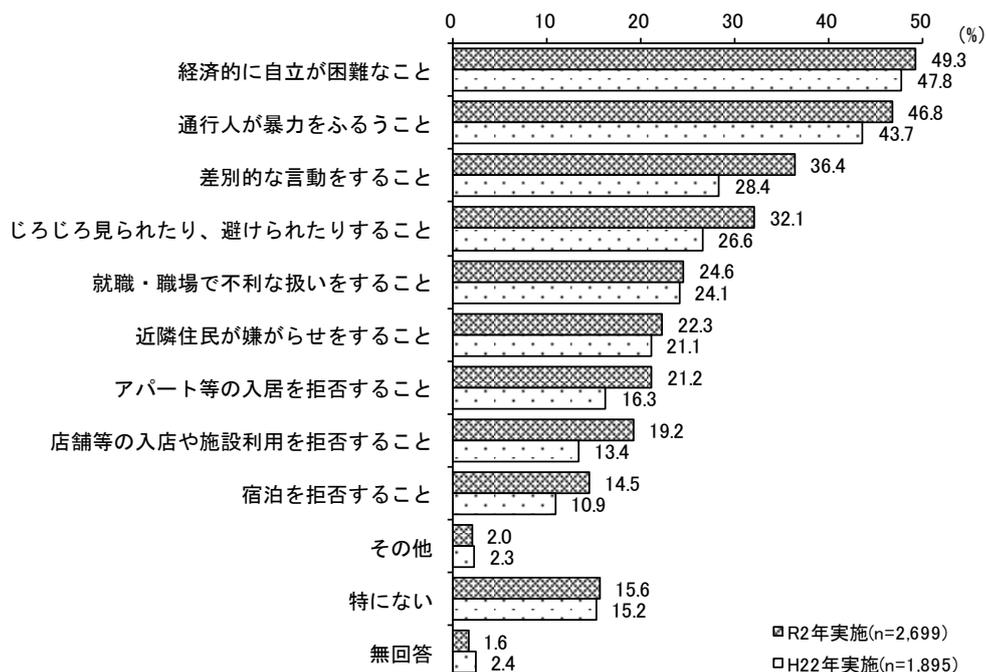
問34. あなたは、ホームレスに関して、人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

- 1 近隣住民が嫌がらせをすること
- 2 通行人が暴力をふるうこと
- 3 差別的な言動をすること
- 4 就職・職場で不利な扱いをすること
- 5 アパート等の入居を拒否すること
- 6 宿泊を拒否すること
- 7 店舗等への入店や施設利用を拒否すること
- 8 じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 9 経済的に自立が困難なこと
- 10 その他
- 11 特にない

【県全域／前回との比較】

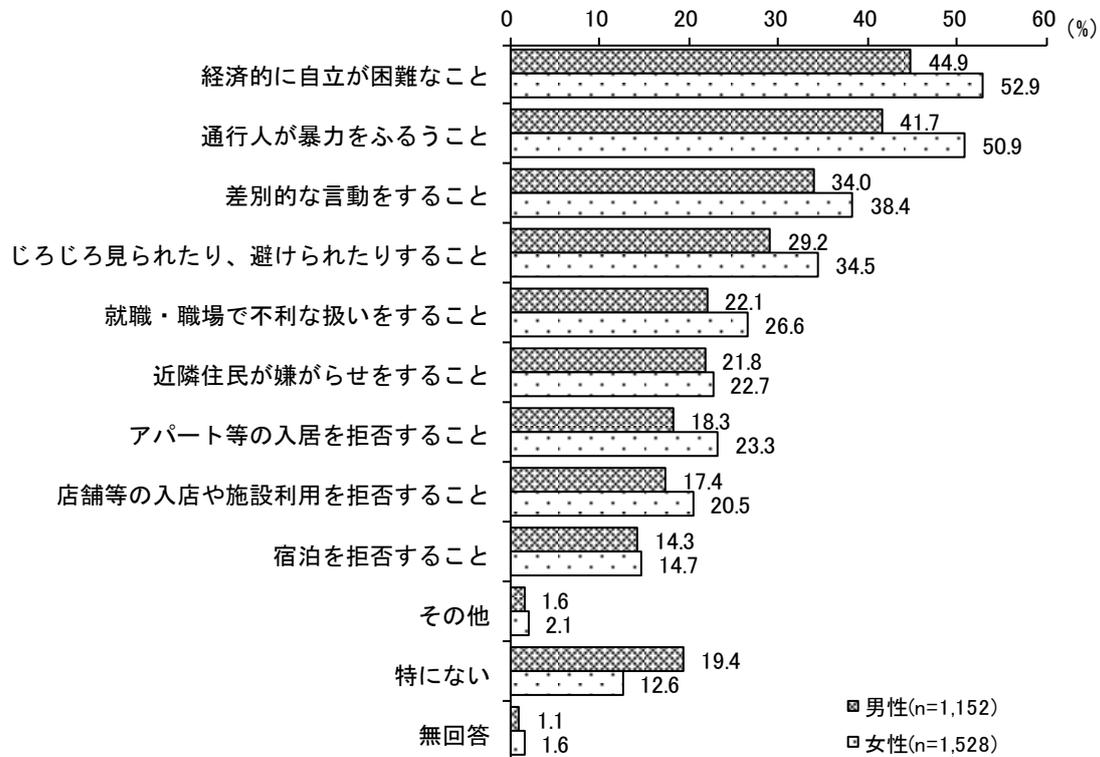
ホームレスの人権が尊重されていないと感じる状況は、「経済的に自立が困難なこと」が49.3%で最も高く、次いで、「通行人が暴力をふるうこと」が46.8%、「差別的な言動をすること」が36.4%と続いている。

前回調査と比較すると、「差別的な言動をすること」(28.4%→36.4%)が8.0ポイント高くなっている。



【性別】

いずれの項目も女性は男性より高く、特に「通行人が暴力をふるうこと」（女性 50.9% 男性 41.7%）が 9.2 ポイント高くなっている。また男性は女性より「特にない」（男性 19.4% 女性 12.6%）が 6.8 ポイント高くなっている。



【年齢別】

20歳代以下では「差別的な言動をすること」が、30歳代から50歳代では「通行人が暴力をふるうこと」が、60歳代以上では「経済的に自立が困難なこと」の割合が高くなっている。

	全体 (人)	経済的に自立が困難なこと	通行人が暴力をふるうこと	差別的な言動をすること	じろじろ見られたり避けられたりすること	就職・職場で不利な扱いをすること	近隣住民が嫌がらせをすること	アパート等の入居を拒否すること	店舗等の入店や施設利用を拒否すること	宿泊を拒否すること	その他	特にない	無回答
18・19歳	23	52.2	43.5	60.9	30.4	34.8	43.5	13.0	17.4	17.4	0.0	4.3	0.0
20歳代	272	45.6	46.7	48.9	41.5	29.0	30.9	22.4	24.6	18.4	0.4	16.2	0.7
30歳代	449	48.6	49.4	38.3	29.4	24.1	22.5	17.6	17.1	13.8	1.1	16.9	0.4
40歳代	612	47.9	52.3	34.3	29.7	23.4	21.9	20.1	15.8	13.7	2.9	15.4	0.8
50歳代	571	48.9	49.7	35.2	35.2	25.2	22.2	22.1	21.4	15.1	1.8	13.8	0.5
60歳代	455	52.3	44.4	34.3	32.3	22.6	18.2	21.8	20.0	13.6	2.4	16.3	2.2
70歳代	274	54.7	32.1	32.5	25.9	25.5	19.3	26.6	18.6	14.2	2.6	16.8	5.1
80歳以上	26	46.2	23.1	19.2	38.5	30.8	23.1	15.4	26.9	11.5	0.0	7.7	3.8

1.7 地震や台風などの災害時における人権

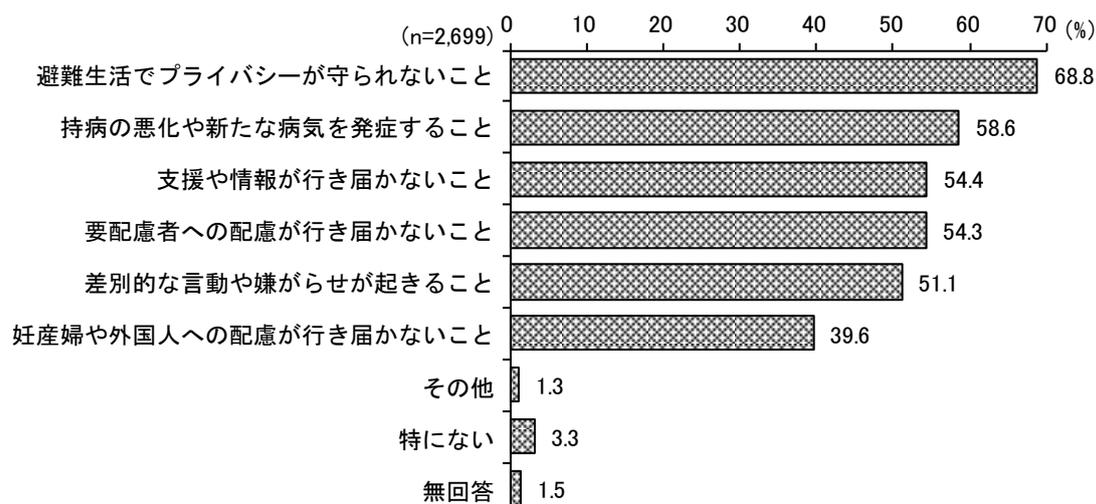
◎ 地震や台風などの災害時における人権問題は「避難生活でプライバシーが守られないこと」が6割後半と最も高くなっている

問35. あなたは、地震や台風などの災害が起きた場合に、人権上問題になると思われるのはどのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

- 1 避難生活でプライバシーが守られないこと
- 2 避難生活の長期化により持病が悪化したり、新たな病気を発症したりすること
- 3 要配慮者（障害者、高齢者、乳幼児等）に対して十分な配慮が行き届かないこと
- 4 妊産婦、外国人、性的マイノリティ（LGBT等）に対して十分な配慮が行き届かないこと
- 5 必要な支援や被災状況などの情報が行き届かないこと
- 6 デマ・風評などによる差別的な言動や嫌がらせが起きること
- 7 その他
- 8 特にない

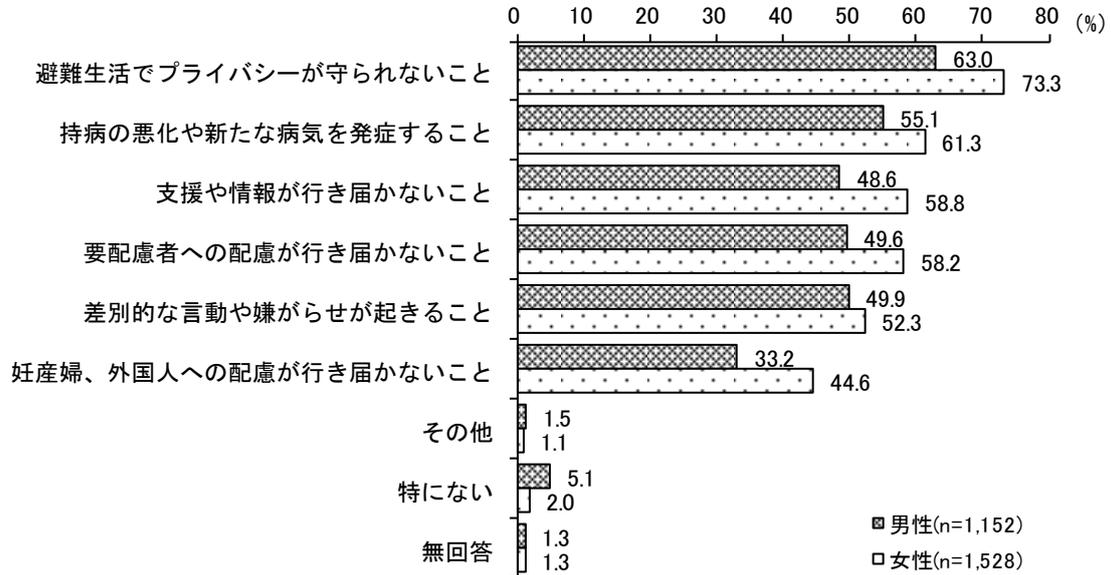
【県全域】

地震や台風などの災害が起きた場合、人権上問題になると思うものを聞いたところ、「避難生活でプライバシーが守られないこと」が68.8%と最も高く、次いで、「避難生活の長期化により持病が悪化したり、新たな病気を発症したりすること」が58.6%、「必要な支援や被災状況などの情報が行き届かないこと」が54.4%、「要配慮者（障害者、高齢者、乳幼児等）に対して十分な配慮が行き届かないこと」が54.3%と続いている。



【性別】

いずれの項目も女性は男性よりも高く、特に「避難生活でプライバシーが守られないこと」、「支援や情報が行き届かないこと」、「妊産婦、外国人、性的マイノリティ（LGBT等）に対して十分な配慮が行き届かないこと」がそれぞれ10.0ポイント以上高くなっている。



【年齢別】

各年代において「避難生活でプライバシーが守られないこと」が高くなっており、特に40歳代、50歳代では70%を超えている。

年齢	全体 (人)	プライバシーが守られないこと	持病の悪化や新たな病気を発症すること	支援や情報が行き届かないこと	要配慮者への配慮が行き届かないこと	差別的な言動や嫌がらせが起きること	妊産婦や外国人への配慮が行き届かないこと	その他	特にない	無回答
18・19歳	23	65.2	47.8	39.1	39.1	39.1	34.8	0.0	8.7	0.0
20歳代	272	60.7	48.2	50.7	49.6	57.0	45.6	1.8	5.5	0.7
30歳代	449	65.5	56.1	53.5	55.0	59.5	45.7	1.6	4.2	0.4
40歳代	612	72.1	53.3	51.6	54.2	57.5	38.4	2.1	2.3	0.2
50歳代	571	72.7	61.8	55.7	53.9	53.4	38.5	0.9	1.4	0.9
60歳代	455	69.5	65.7	59.6	60.7	41.8	39.1	0.4	3.5	2.4
70歳代	274	68.6	67.2	56.9	52.2	33.6	32.5	0.7	5.1	4.4
80歳以上	26	57.7	61.5	46.2	42.3	19.2	19.2	0.0	3.8	7.7

1 8 働く人の人権

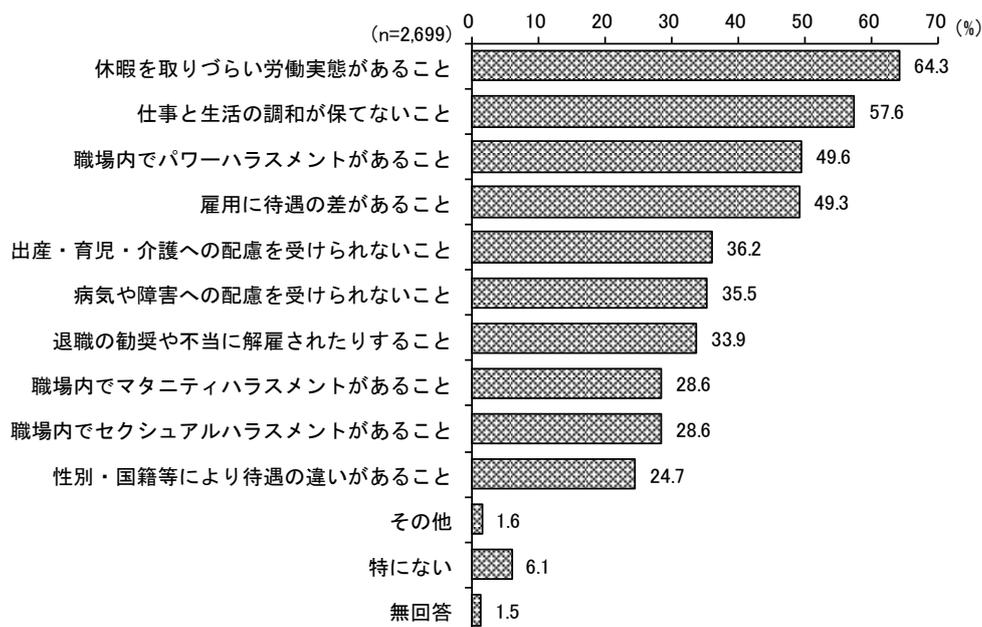
◎ 人権が尊重されていないと感じるのは「休暇制度があっても取りづらいうような労働実態があること」が6割半ばと最も高くなっている

問36. あなたは、働く人の人権が尊重されていないと感じるのはどのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

- 1 長時間労働が常態化して、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）が保てないこと
- 2 正規雇用と非正規雇用に待遇の差があること
- 3 休暇制度があっても取りづらいうような労働実態があること
- 4 性別・国籍等により待遇の違いがあること
- 5 職場内でパワーハラスメント（地位や権限を利用したいじめや嫌がらせ）があること
- 6 職場内でセクシュアルハラスメント（性的嫌がらせ）があること
- 7 職場内でマタニティハラスメント（妊娠・出産等を理由とした嫌がらせ）があること
- 8 退職を勧奨されたり、不当に解雇されたりすること
- 9 出産・育児・介護に関して、職場の配慮を受けられないこと
- 10 病気や障害に関して、職場の配慮を受けられないこと
- 11 その他
- 12 特にない

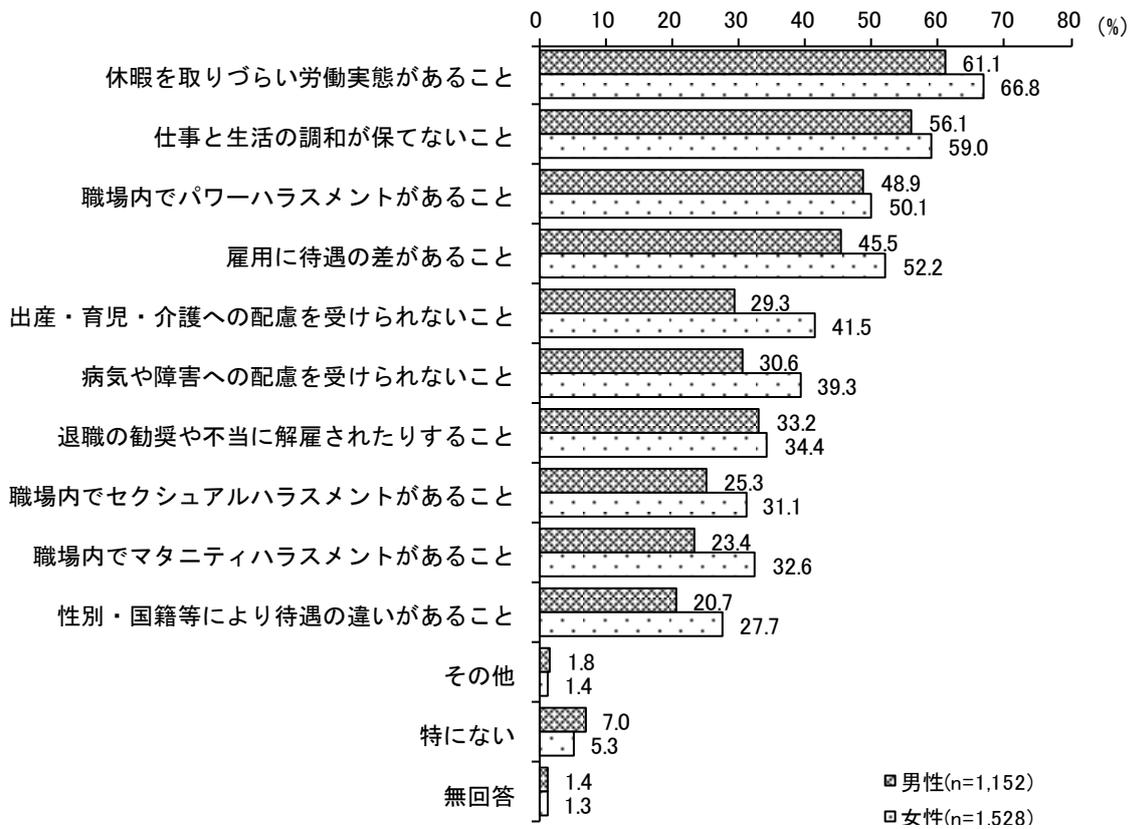
【県全域】

働く人の人権が尊重されていないと感じる状況は、「休暇制度があっても取りづらいうような労働実態があること」が64.3%と最も高く、次いで、「長時間労働が常態化して、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）が保てないこと」が57.6%と続いている。



【性別】

いずれの項目も女性は男性より高く、特に「出産・育児・介護に関して、職場の配慮を受けられないこと」(女性 41.5% 男性 29.3%) が 12.2 ポイント高くなっている。



【年齢別】

30歳代以下では「仕事と生活の調和が保てないこと」が、40歳代から60歳代では「休暇を取りづらい労働実態があること」が、70歳代以上では「雇用には待遇の差があること」が最も高くなっている。

	全体 (人)	実 休 暇 が 取 り づ い ら い 労 働 実 態 が あ る こ と	て 仕 事 と 生 活 の 調 和 が 保 て な い こ と	メ ン ト 内 で パ ワ ー ハ ラ ス メ ン ト あ る こ と	こ 雇 用 に 待 遇 の 差 が あ る こ と	と 配 慮 を 受 け ら れ な い こ と	出 産 ・ 育 児 ・ 介 護 に 関 し て の 配 慮 を 受 け ら れ な い こ と	受 け ら れ な い こ と	病 気 や 障 害 に 関 し て の 配 慮 を 受 け ら れ な い こ と	雇 用 に 関 し て の 差 が あ る こ と	退 職 の 勧 奨 や 不 当 に 解 雇 さ れ たり す る こ と	ラ ス メ ン ト マ タ ニ ティ ハ ラ ス メ ン ト あ る こ と	と ハ ラ ス メ ン ト あ る こ と	性 別 ・ 国 籍 等 に よ り の 差 が あ る こ と	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
18・19歳	23	69.6	82.6	43.5	30.4	52.2	43.5	43.5	43.5	39.1	34.8	0.0	0.0	0.0			
20歳代	272	72.4	74.6	58.5	38.6	46.7	41.5	35.3	42.6	39.7	32.0	1.8	3.7	1.1			
30歳代	449	70.2	70.8	56.8	45.0	45.0	38.1	28.7	38.8	34.3	28.3	1.6	4.7	0.2			
40歳代	612	68.5	61.1	47.4	43.6	36.1	37.1	31.4	27.1	26.8	23.7	2.8	5.2	0.3			
50歳代	571	62.0	52.5	50.3	50.8	32.9	34.0	36.4	26.6	28.9	21.4	1.2	6.7	1.1			
60歳代	455	59.6	46.6	47.0	59.1	29.5	33.6	36.3	21.1	22.6	22.4	0.9	7.7	2.4			
70歳代	274	51.8	41.2	39.8	60.6	30.7	28.8	36.9	19.7	21.9	24.1	1.1	8.8	4.0			
80歳以上	26	50.0	34.6	23.1	57.7	19.2	30.8	34.6	7.7	15.4	19.2	0.0	7.7	7.7			

1 9 埼玉県の人権に関する取組

◎ 人権啓発の有効な手段としては「テレビ・ラジオを通じた啓発を行う」が過半数

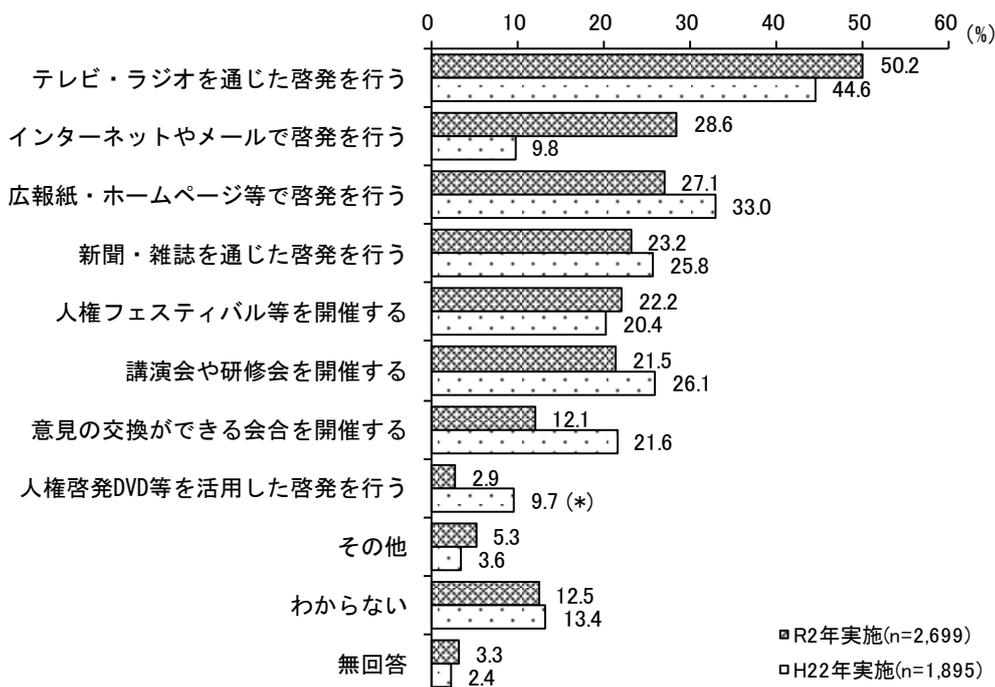
問37. 人権に対する理解を高め、一人ひとりが人権問題を解決していくためには、人権に関する教育や啓発活動が重要と考えられます。あなたは、人権啓発を促進していくには、どのような啓発広報活動が有効だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 講演会や研修会を開催する
- 2 人権フェスティバル等のイベントを開催する
- 3 県や市町村の広報誌・ホームページ等による啓発を行う
- 4 テレビ・ラジオを通じた啓発を行う
- 5 人権啓発DVD等を活用した啓発を行う
- 6 新聞・雑誌を通じた啓発を行う
- 7 インターネットやメール（メールマガジン等）による啓発を行う
- 8 自治会単位で自由な意見の交換ができる会合を開催する
- 9 その他
- 10 わからない

【県全域／前回との比較】

人権啓発を促進していくための有効手段として、「テレビ・ラジオを通じた啓発を行う」が50.2%と最も高く、次いで、「インターネットやメール（メールマガジン等）による啓発を行う」が28.6%、「県や市町村の広報誌・ホームページ等による啓発を行う」が27.1%と続いている。

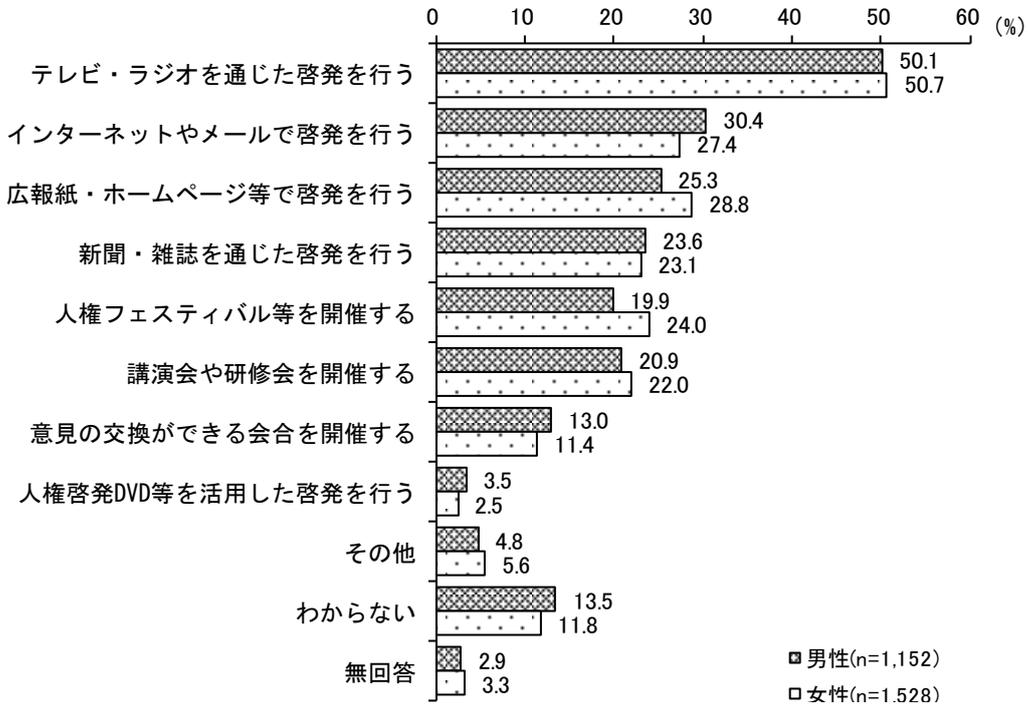
前回調査と比較すると、「インターネットやメールで啓発を行う」(9.8%→28.6%)が18.8ポイントと大きく増加している。



* : H22年は「映画・ビデオを通じた啓発を行う」

【性別】

男女間で大きな差はみられず、「テレビ・ラジオを通じた啓発を行う」が約 50%と最も高くなっている。



【年齢別】

20歳代から60歳代は「テレビ・ラジオを通じた啓発を行う」が最も高く、70歳代では「広報紙・ホームページ等で啓発を行う」が最も高くなっている。

	全体 (人)	テレビ・ラジオを通じた啓発を行う	インターネットやメールで啓発を行う	広報紙・ホームページ等で啓発を行う	新聞・雑誌を通じた啓発を行う	人権フェスティバル等を開催する	講演会や研修会を開催する	意見の交換ができる会を開催する	人権啓発DVD等を活用した啓発を行う	その他	わからない	無回答
18・19歳	23	43.5	26.1	30.4	21.7	26.1	26.1	8.7	0.0	4.3	13.0	0.0
20歳代	272	50.7	37.1	18.0	22.4	19.9	18.4	9.6	1.5	7.0	13.2	2.2
30歳代	449	47.2	34.5	23.4	18.3	25.4	18.0	11.4	3.3	6.0	14.5	2.2
40歳代	612	51.8	34.8	19.8	20.8	22.2	21.4	10.5	2.0	8.3	12.4	1.5
50歳代	571	55.2	30.3	26.8	25.0	22.4	18.9	11.7	2.5	3.7	11.6	3.2
60歳代	455	50.8	20.7	35.4	27.9	22.2	25.9	11.4	3.7	4.0	11.9	4.6
70歳代	274	44.2	9.1	46.0	25.9	20.4	27.4	21.2	5.8	1.5	11.3	5.8
80歳以上	26	30.8	7.7	30.8	30.8	15.4	30.8	19.2	0.0	0.0	15.4	11.5

◎ 学校教育の進め方としては「人を大切にする心や態度を育む」という教育を進める」が6割半ばと最も高くなっている

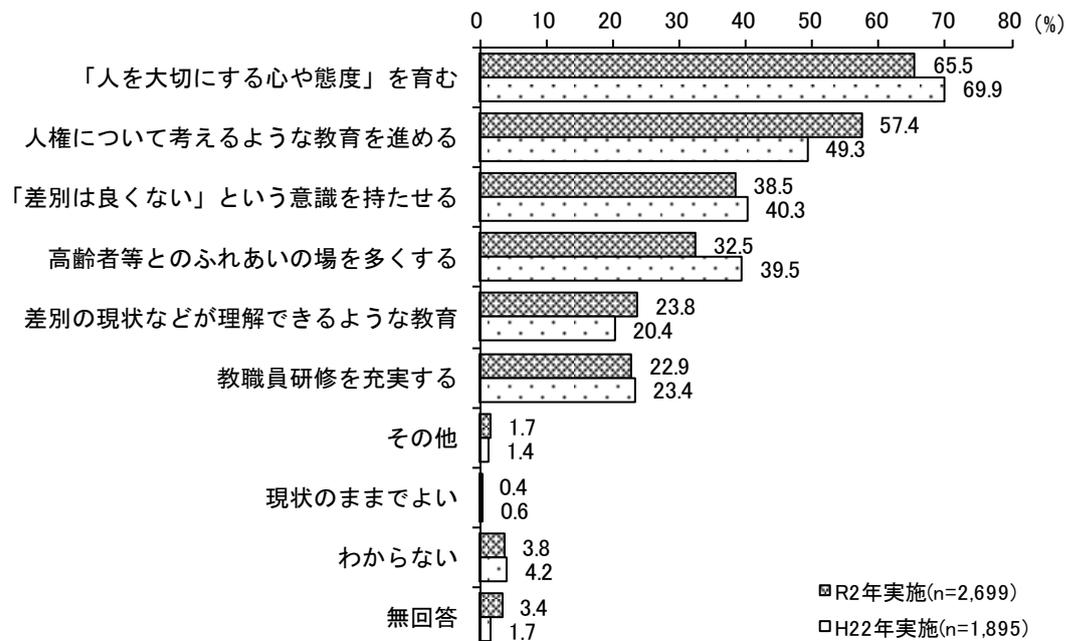
問38. あなたは、人権教育を促進していくには、学校においてどのような教育を進めていけばよいと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 すべての児童・生徒が基本的人権について考えるような教育を進める
- 2 「差別するのは良くないことである」という意識を持たせる教育を進める
- 3 「人を大切にする心や態度を育む」という教育を進める
- 4 歴史的な経過や、差別の現状などが理解できるような教育を進める
- 5 障害のある人や高齢者とのふれあいの場を多くするなど、交流及び共同学習を進める
- 6 人権教育を効果的に進めるため、教職員研修を充実する
- 7 その他
- 8 現状のままでよい
- 9 わからない

【県全域／前回との比較】

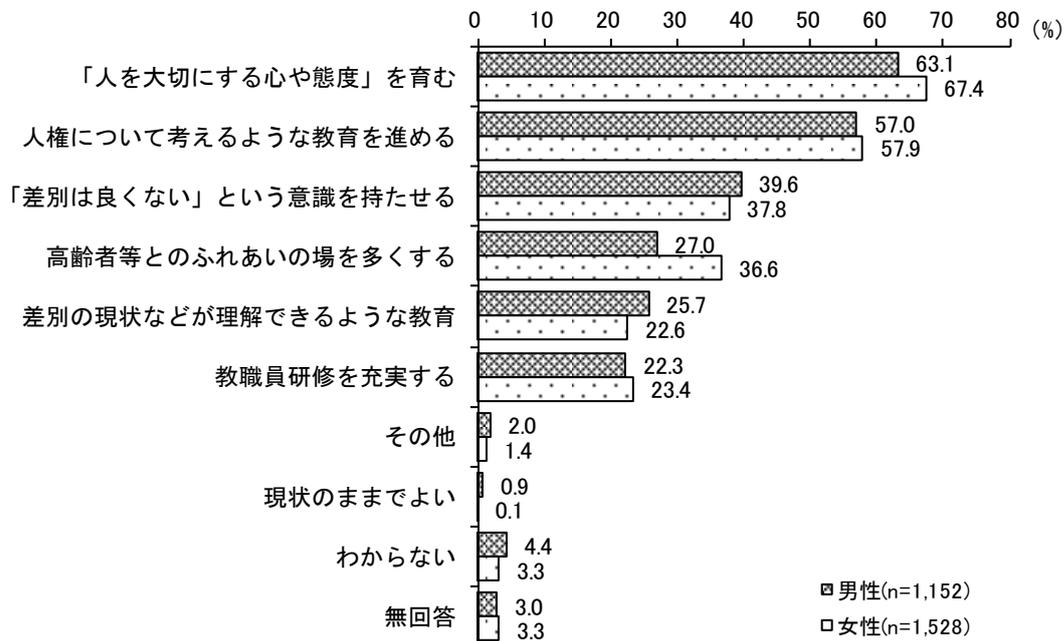
人権教育を促進していくために必要な学校教育は、「人を大切にする心や態度を育む」という教育を進める」が65.5%と最も高く、次いで、「すべての児童・生徒が基本的人権について考えるような教育を進める」が57.4%、「差別するのは良くないことである」という意識を持たせる教育を進める」が38.5%と続いている。

前回調査と比較すると、「人権について考えるような教育を進める」(49.3%→57.4%)が8.1ポイントと増加している。



【性別】

女性は男性よりも「障害のある人や高齢者とのふれあいの場を多くするなど、交流及び共同学習を進める」(女性 36.6% 男性 27.0%) が 9.6 ポイント高くなっている。



【年齢別】

各年代において「人を大切にする心や態度を育む」、「人権について考えるような教育を進める」が高くなっている。

	全体 (人)	「人を大切にする心や態度」を育む	人権について考えるよう	「差別は良くない」という意識を持たせる	高齢者等とのふれあいの場を多くする	差別の現状などが理解できるような教育	教職員研修を充実する	その他	現状のままでよい	わからない	無回答
18・19歳	23	39.1	52.2	34.8	34.8	26.1	21.7	0.0	0.0	4.3	4.3
20歳代	272	63.6	61.0	33.8	27.9	27.6	23.9	1.1	0.0	4.0	2.9
30歳代	449	67.5	58.8	37.6	30.7	29.2	18.3	2.4	0.7	4.0	2.9
40歳代	612	67.2	57.8	37.7	34.3	25.0	22.5	3.3	0.3	3.1	1.5
50歳代	571	63.4	58.3	41.0	32.9	24.5	21.5	1.1	0.5	2.8	3.3
60歳代	455	66.2	55.6	38.7	38.9	20.7	24.0	0.9	0.7	4.4	3.1
70歳代	274	67.2	52.9	40.5	24.8	15.7	32.8	0.4	0.4	5.5	6.6
80歳以上	26	61.5	61.5	46.2	30.8	0.0	15.4	0.0	0.0	7.7	7.7

◎ 県が取り組むべき必要なことは「学校における人権教育を充実する」「幼児の時から、多様な個性を認め合える教育を推進する」が約4割と高くなっている

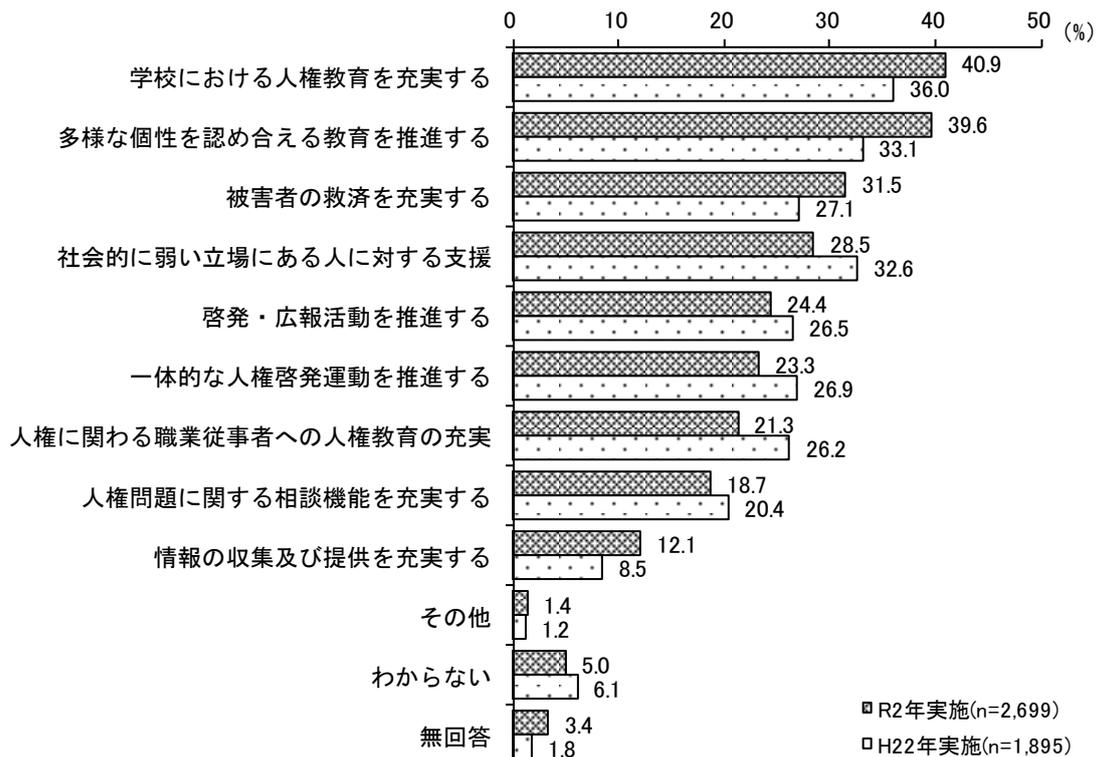
問39. あなたは、人権が尊重される社会を実現するためには、今後、埼玉県は、特にどのようなことに取り組んでいくことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 人権意識を高め人権への理解を深めてもらうための啓発・広報活動を推進する
- 2 人権問題に関する相談機能を充実する
- 3 人権が侵害された被害者の救済を充実する
- 4 人権に関する情報の収集及び提供を充実する
- 5 国や県、市町村、民間団体等の関係機関が連携を図り、一体的な人権啓発活動を推進する
- 6 幼児の時から、多様な個性を認め合える教育を推進する
- 7 学校における人権教育を充実する
- 8 公務員、警察官、教員などの人権に関わりの深い職業に従事する者の人権教育を充実する
- 9 社会的に弱い立場にある人に対する支援、救済策を充実する
- 10 その他
- 11 わからない

【県全域／前回との比較】

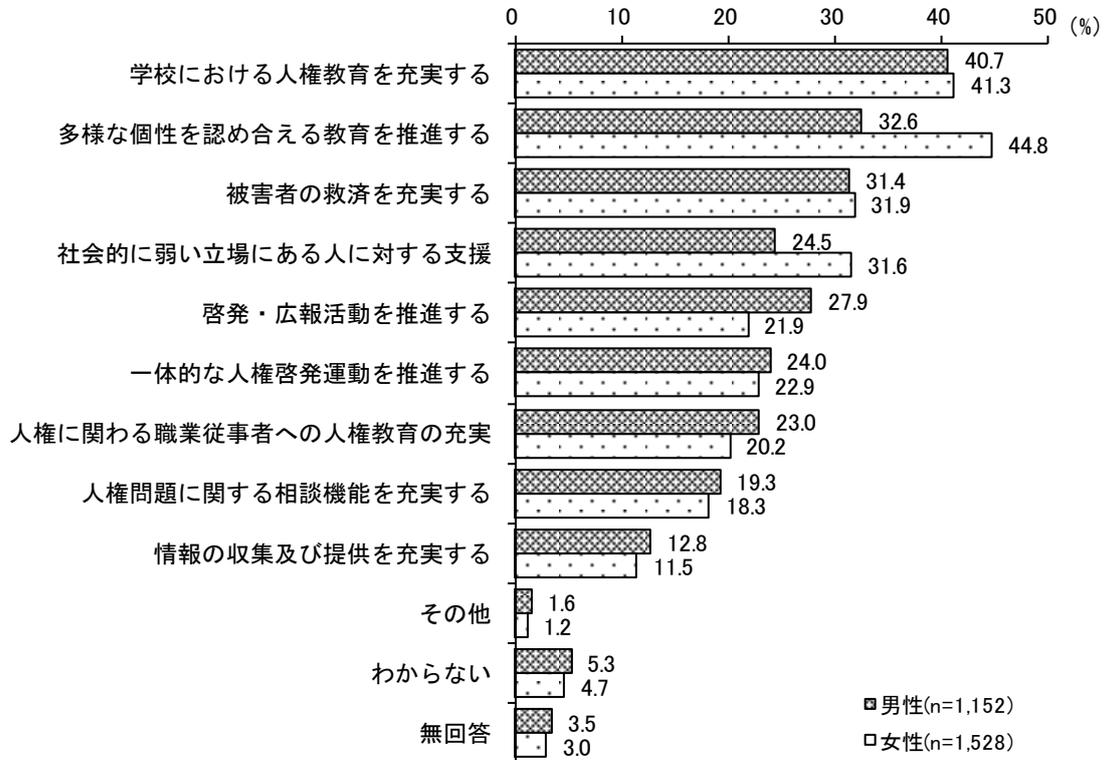
埼玉県の取り組みとして必要なことは、「学校における人権教育を充実する」が40.9%と最も高く、次いで、「幼児の時から、多様な個性を認め合える教育を推進する」が39.6%、「人権が侵害された被害者の救済を充実する」が31.5%と続いている。

前回調査と比較すると、「多様な個性を認め合える教育を推進する」(33.1%→39.6%)が6.5ポイント増加している。



【性別】

女性は男性よりも「多様な個性を認め合える教育を推進する」（女性 44.8% 男性 32.6%）が 12.2 ポイント、「社会的に弱い立場にある人に対する支援、救済策を充実する」（女性 31.6% 男性 24.5%）が 7.1 ポイント高くなっている。



【年齢別】

20歳代、50歳代から70歳代では「学校における人権教育を充実する」が、30歳代、40歳代では「多様な個性を認め合える教育を推進する」が最も高くなっている。

年齢	全体 (人)	(%)											
		学校における人権教育を充実する	多様な個性を認め合える教育を推進する	被害者の救済を充実する	社会的に弱い立場にある人に対する支援	啓発・広報活動を推進する	一体的な人権啓発運動を推進する	人権に関わる職業従事者への人権教育の充実	人権問題に関する相談機能を充実する	情報の収集及び提供を充実する	その他	わからない	無回答
18・19歳	23	43.5	39.1	30.4	34.8	30.4	0.0	17.4	13.0	4.3	0.0	4.3	0.0
20歳代	272	44.9	41.9	34.6	30.5	16.5	16.5	18.0	18.0	16.2	1.1	5.9	2.9
30歳代	449	48.1	49.7	32.1	25.8	20.7	16.5	18.3	14.9	10.9	2.2	4.9	2.9
40歳代	612	39.4	44.0	36.6	30.9	20.1	21.6	19.6	19.6	12.4	2.1	3.9	1.5
50歳代	571	40.3	38.0	29.8	27.1	25.7	24.7	22.1	21.2	11.9	1.4	4.6	3.7
60歳代	455	38.0	32.7	29.7	29.5	29.0	29.7	24.4	20.7	12.7	0.9	5.5	4.0
70歳代	274	36.5	27.7	24.8	27.4	34.7	32.8	28.5	15.7	9.5	0.0	6.2	5.1
80歳以上	26	30.8	30.8	23.1	23.1	46.2	38.5	15.4	23.1	7.7	0.0	7.7	7.7